

# 機器接続マニュアル



## 機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

## 2.1

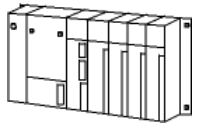


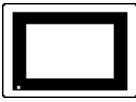
# 三菱電機（株）製 PLC

### 2.1.1 システム構成

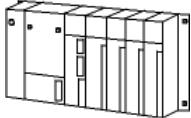



三菱電機（株）製 PLC とターゲット機を接続する場合のシステム構成を示します。

< 結線図 > は 2.1.2 結線図をご参照ください。


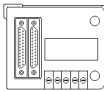


MELSEC-A シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
	 計算機 リンク ユニット			
A2A, A3A, A2U, A3U, A4U	AJ71C24-S6 AJ71C24-S8 AJ71UC24	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL232/5M-01 (5m)	ST401/ST403
		RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
A2US	A1SJ71C24-R2, A1SJ71UC24-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS(3m)	GP/GLC シリーズ
			—————	ST401/ST403
	A1SJ71UC24-R4	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
A2USH-S1	A1SJ71UC24-R4	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
	A1SJ71UC24-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS(3m)	GP/GLC シリーズ
			—————	ST401/ST403

MELSEC-N シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
	 計算機 リンク ユニット			
A1N, A2N, A3N	AJ71C24, AJ71C24-S3, AJ71C24-S6, AJ71C24-S8, AJ71UC24 (A2Nのみ)	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m) CA3-CBL232/5M-01 (5m)	GP/GLC シリーズ ST401/ST403
A0J2, A0J2H	A0J2-C214-S1	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01 (5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
A1S	A1SJ71C24-R2, A1SJ71UC24-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS (3m) —————	GP/GLC シリーズ ST401/ST403
	A1SJ71C24-R4	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
A1SJ, A2SH, A1SH	A1SJ71UC24-R4		CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
	A1SJ71UC24-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS (3m) —————	GP/GLC シリーズ ST401/ST403
A2CCPU24	CPUユニット上の リンクユニット	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS (3m) —————	GP/GLC シリーズ ST401/ST403

## MELSEC-Aシリーズ(CPU直結)

CPU *1	アダプタ	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
				
A2A, A3A, A4U, A3U, A2U-S1, A2US-S1, A2USH-S1, A2US	/	RS-422 <結線図11>*4	Aシリーズ用プロコンI/F ケーブル (アイソレーションタイプ) GP430-IP10-0 (5m) *5*6、 GP2000-CBLA/5M-01(5m)*7	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBLA-01(5m)*8	ST400/ST403
			ダイヤトレンド(株)製 DAFXIH-CABV*6	ST401/ST403
A2A, A3A, A4U, A3U, A2U-S1, A2US-S1, A2USH-S1, A2US	2ポート アダプタ*2 GP030-MD11-0	RS-422 (結線図については「三菱PLC用2 ポートアダプタ取扱説明書」参照)	Aシリーズ用プロコンI/F ケーブル (アイソレーションタイプ) GP430-IP10-0 (5m) *5*6	GP/GLC シリーズ
A2A, A3A, A4U, A2U-S1, A2USH-S1, A2US	2ポート アダプタ *3 GP070-MD11	RS-422 (結線図については「三菱PLC用2 ポートアダプタ 取扱説明書」参 照)	GP070-MDCB11(5m) または自作RS-422ケーブル	GP/GLC シリーズ
		「STとの接続」の 1-6ページ「2ポート アダプタ」を接続し て使用する場合」 参照	—————	ST400/ST403
		RS-422 <結線図11>*4	Aシリーズ用プロコンI/F ケーブル (アイソレーションタイプ) GP430-IP10-0 (5m) *5*6、 GP2000-CBLA/5M-01(5m)*7	GP/GLC シリーズ
CA3-CBLA-01(5m)*8	ST400/ST403			
	三菱電機製インター フェイスユニット FX-2PIF 三菱電機マニュアル 参照		ダイヤトレンド(株)製 DAFXIH-CABV*6	ST401/ST403

\*1 プログラミングコンソールI/Fポートに接続します。

\*2 GPとPLCの通信中にラダーツールからプログラムの読み書きを行った場合、正常に終了しない事があります。その場合は一度、GPをオフラインにしてプログラムの読み書きを行ってください。



注意 ・ 上記以外のCPUとCPU直結接続した場合、PLCが破損する可能性があります。  
・ PLC側に2つのポートがある場合、同時にGPを接続することはできません。

\*3 2ポートアダプタを使用する場合は、接続可能なPLCは更新されることがありますので、「三菱PLC2ポートアダプタ 取扱説明書」も併せてご覧ください。

\*4 この結線は、GP2000/GLC2000シリーズ及びSTシリーズでご使用できます。その他のシリーズは、GP430-IP10-0をご使用ください。

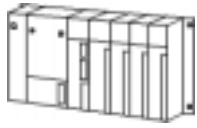
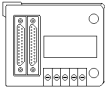


\*5 STシリーズでは、GP430-IP10-0はご使用できません。

\*6 このケーブルを使用する場合、ターゲット機の通信方式は「RS-232C」に設定してください。

\*7 GP2000シリーズ、GLC2000シリーズのみ使用できます。

\*8 STシリーズのみ使用できます。

MELSEC-N シリーズ（CPU 直結）

CPU *1	アダプタ	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
				
A1N, A2N, A3N, A3H, A1S, A2SH, A2CJS3, A1SH, A2CCPU24, A1SJ, AOJ2H	/	RS-422 < 結線図11 > *4	Aシリーズ用プロコンI/Fケーブル (アイソレーションタイプ) GP430-IP10-0 (5m) *5*6、 GP2000-CBLA/5M-01 (5m) *7	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBLA-01 (5m) *8	ST400/ST403
			ダイヤトレンド(株)製 DAFXIH-CABV *6	ST401/ST403
A1N, A2N, A3N, A3H, A1S, A2SH, A1SH, A1SJ	2ポート アダプタ *2 GP030-MD11-0	RS-422 (結線図については「三菱PLC用2ポートアダプタ取扱説明書」参照)	Aシリーズ用プロコンI/Fケーブル (アイソレーションタイプ) GP430-IP10-0 (5m) *5*6	GP/GLC シリーズ
A1S, A2N, A3H, A3N, A1SJ, A2SH, A1SH, A2CJ-S3, AOJ2H	2ポート アダプタ *3 GP070-MD11	RS-422 (結線図については「三菱PLC用2ポートアダプタ取扱説明書」参照)	GP070-MDCB11 (5m) または自作RS-422ケーブル	GP/GLC シリーズ
		「STとの接続」の1-6ページ「2ポートアダプタを接続して使用する場合」参照	—————	ST400/ST403
		RS-422 < 結線図11 > *4	Aシリーズ用プロコンI/Fケーブル (アイソレーションタイプ) GP430-IP10-0 (5m) *5*6、 GP2000-CBLA/5M-01 (5m) *7	GP/GLC シリーズ
CA3-CBLA-01 (5m) *8	ST400/ST403			
	三菱電機製インターフェイスユニット FX-2PIF 三菱電機マニュアル参照		ダイヤトレンド(株)製 DAFXIH-CABV *6	ST401/ST403

\*1 プログラミングコンソールI/Fポートに接続します。

\*2 GPとPLCの通信中にラダーツールからプログラムの読み書きを行った場合、正常に終了しない事があります。その場合は一度、GPをオフラインモードにしてプログラムの読み書きを行ってください。



注意 ・ 上記以外のCPUとCPU直結接続した場合、PLCが破損する可能性があります。  
・ PLC側に2つのポートがある場合、同時にGPを接続することはできません。

\*3 2ポートアダプタを使用する場合は、接続可能なPLCは更新されることがありますので、「三菱PLC2ポートアダプタ 取扱説明書」も併せてご覧ください。

\*4 この結線は、GP2000/GLC2000シリーズ及びSTシリーズでご使用できます。その他のシリーズは、GP430-IP10-0をご使用ください。

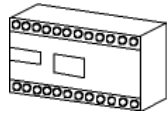


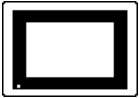
\*5 STシリーズでは、GP430-IP10-0はご使用できません。

\*6 このケーブルを使用する場合、ターゲット機の通信方式は「RS-232C」に設定してください。

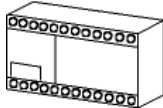

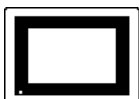
\*7 GP2000シリーズ、GLC2000シリーズのみ使用できます。

\*8 STシリーズのみ使用できます。

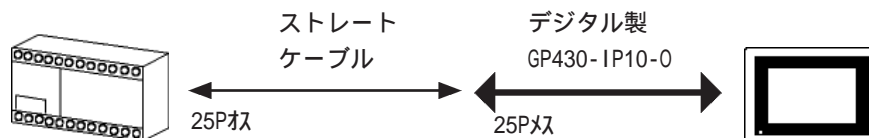
MELSEC-F<sub>2</sub> シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
				
F <sub>2</sub> -20M, F <sub>2</sub> -40M, F <sub>2</sub> -60M	F2-232GF	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m) 三菱電機（株）製 F <sub>2</sub> -232CAB (3m) CA3-CBL232/5M-01 (5m)	GP/GLC シリーズ  ST401/ST403

MELSEC-FX シリーズ（A1FX）（CPU 直結）

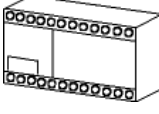
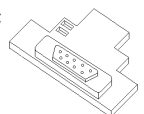


CPU	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
			
A1FX *1		GP430-IP10-0(5m) 三菱電機（株）製 F <sub>2</sub> -232CAB (3m) *2	GP/GLC シリーズ

\*1 A1FXをご使用になる場合、PRO/PB での「PLCタイプ」はMELSEC-AnN(CPU)シリーズを選択してください。また、デバイス範囲はMELSEC-Nシリーズを参照してください。接続の際にはコネクタ部とCPUカバー部との段差がありますので、下図のように25ピンのストレートケーブルにて延長する必要があります。



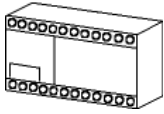


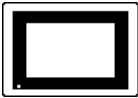
\*2 STシリーズでは、GP430-IP10-0 はご使用できません。

MELSEC-FXシリーズ（三菱電機 MELSEC-FX2(LINK) プロトコルで使用する場合）

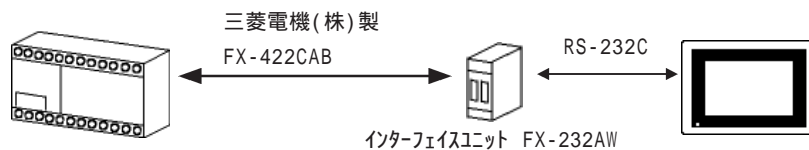
CPU	アダプタ	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
	機能拡張 ボード 			
FX <sub>2N</sub> <sup>*1</sup>	FX <sub>2N</sub> -232-BD	RS-232C < 結線図6 >		GP/GLC シリーズ ST401/ST403
	FX <sub>2N</sub> -485-BD, FX <sub>0N</sub> -485ADP+FX <sub>2N</sub> - CNV-BD	RS-422 < 結線図7 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
FX <sub>2NC</sub> , FX <sub>1NC</sub>	FX <sub>0N</sub> -232ADP	RS-232C < 結線図8 >		GP/GLC シリーズ ST401/ST403
	FX <sub>0N</sub> -485ADP	RS-422 < 結線図7 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
FX <sub>1N</sub>	FX <sub>1N</sub> -232-BD	RS-232C < 結線図6 >		GP/GLC シリーズ ST401/ST403
	FX <sub>1N</sub> -485-BD, FX <sub>0N</sub> -485ADP+FX <sub>1N</sub> - CNV-BD	RS-422 < 結線図7 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
FX <sub>3UC</sub> , FX <sub>3U</sub>	FX <sub>3U</sub> -232-BD, FX <sub>3U</sub> -232ADP	RS-232C < 結線図6 >		GP/GLC シリーズ ST401/ST403
	FX <sub>3U</sub> -485-BD, FX <sub>3U</sub> -485ADP	RS-422 < 結線図7 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403

\*1 PLCのシステムのバージョンがVer.1.06以上が必要です。バージョンの確認は、データレジスタ(D8001)を読み出すことで確認できます。詳細は、三菱電機（株）製「FX2Nシリーズ マイクロシーケンサ」のマニュアルをご参照ください。

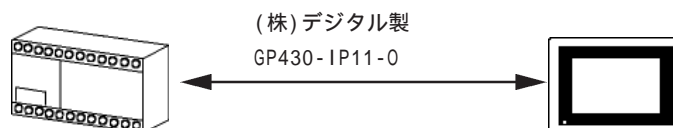
MELSEC-FX シリーズ（三菱電機 MELSEC-FX(CPU) プロトコルを使用する場合）

CPU	アダプタ	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
				
FX <sub>1</sub> , <sup>*2</sup> FX <sub>2</sub> , <sup>*2</sup> FX <sub>2C</sub> , <sup>*2</sup> FX <sub>0</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>0S</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>0N</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>1S</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>1N</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>2N</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>1NC</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>2NC</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>3UC</sub> , <sup>*3</sup> FX <sub>3U</sub> <sup>*3</sup>			FXシリーズ専用 プロコンI/Fケーブル (アイソレーション タイプ) GP430-1P11-0(5m) <sup>*8</sup>	GP/GLC シリーズ
FX <sub>1</sub> , FX <sub>2</sub> , FX <sub>2C</sub> , FX <sub>0</sub> , FX <sub>0S</sub> , FX <sub>0N</sub> , FX <sub>1S</sub> , FX <sub>1N</sub> , FX <sub>2N</sub> , FX <sub>1NC</sub> , FX <sub>2NC</sub> , FX <sub>3UC</sub> , FX <sub>3U</sub>	三菱電機（株）製 インターフェイス ユニット FX-232AW <sup>*1 *4</sup>	RS-232C < 結線図1 >	GP410-1S00-0(5m) 三菱電機（株）製 F2-232CAB(3m) CA3-CBL232/5M-01 (5m)	GP/GLC シリーズ  ST401/ST403
FX <sub>2</sub> , <sup>*5</sup> FX <sub>0S</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>0N</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>1S</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>1N</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>2N</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>1NC</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>2NC</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>3UC</sub> , <sup>*6</sup> FX <sub>3U</sub> <sup>*6</sup>	2ポートアダプタ GP070-MD11 <sup>*7</sup>	RS-422 (結線図について は「三菱PLC用2 ポートアダプタ 取扱説明書」 参照) 「STとの接続」 の1-6ページ「2 ポートアダプタを 接続して使用する 場合」参照	GP070-MDCB11(5m) または、自作RS-422 ケーブル	GP/GLC シリーズ  ST400/ST403

\*1 MELSEC-FXシリーズとGPの接続はCPU直結ですが、RS-422の規格信号をRS-232Cの規格信号に変換するために、インターフェイスユニットFX-232AWが必要です。  
FX<sub>1</sub>、FX<sub>2</sub>、FX<sub>2C</sub>と接続する場合は、インターフェイスユニットとPLCを三菱電機（株）製RS-422CABで接続する必要があります。




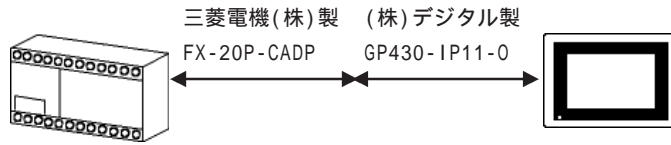
\*2 FX<sub>1</sub>、FX<sub>2</sub>、FX<sub>2C</sub>と接続する場合(CPU直結ポートがD-SUB25ピン)は、(株)デジタル製GP430-1P11-0を使用して、PLCとGPを直接接続する必要があります。



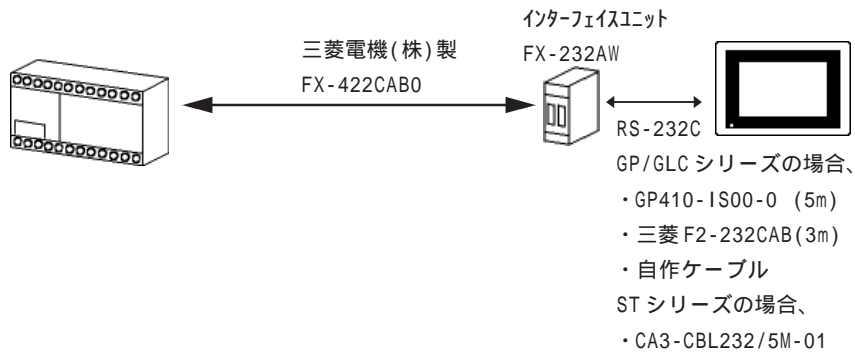


\*3 FX<sub>0</sub>、FX<sub>0S</sub>、FX<sub>0N</sub>、FX<sub>1S</sub>、FX<sub>1N</sub>、FX<sub>2N</sub>、FX<sub>1NC</sub>、FX<sub>2NC</sub>、FX<sub>3UC</sub>、FX<sub>3U</sub> と接続する場合 (CPU 直結ポートが丸 8<sup>°</sup> ) は、PLC を三菱電機（株）製 FX-20P-CADP とで接続する必要があります。

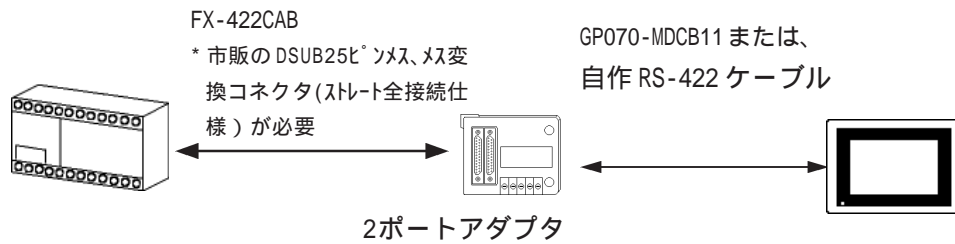
 注意 : 三菱電機（株）製 FX-422CAB0 は使用できません。



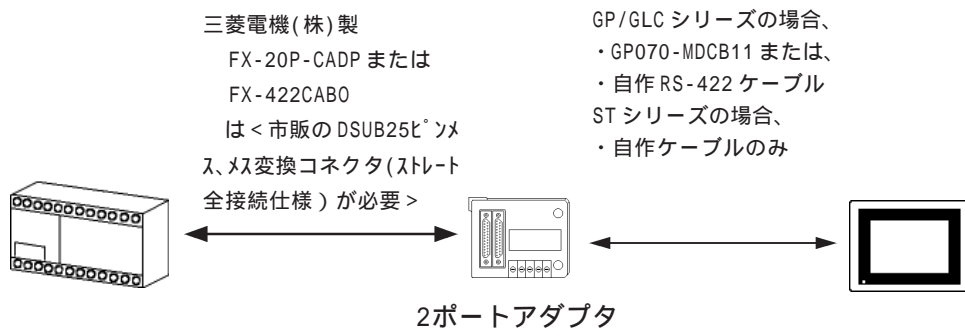
\*4 FX<sub>0</sub>、FX<sub>0S</sub>、FX<sub>0N</sub>、FX<sub>1S</sub>、FX<sub>1N</sub>、FX<sub>2N</sub>、FX<sub>1NC</sub>、FX<sub>2NC</sub>、FX<sub>3UC</sub>、FX<sub>3U</sub> と接続する場合は、インターフェイスユニットと PLC を三菱電機（株）製 FX-422CAB0 で接続する必要があります。



\*5 デジタル製2ポートアダプタ をご使用になる場合は以下のように接続する必要があります。



\*6 デジタル製2ポートアダプタ をご使用になる場合は以下のように接続する必要があります。



\*7 2ポートアダプタ を使用する場合は、接続可能な PLC は更新されることがありますので、「三菱 PLC2ポートアダプタ 取扱説明書」も併せてご覧ください。

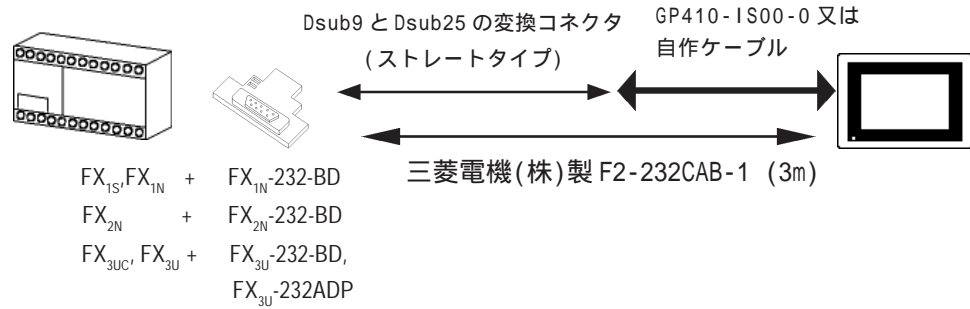
\*8 ST シリーズでは、GP430-IP11-0 をご使用できません。

## MELSEC-FXシリーズ(機能拡張ボードで三菱電機MELSEC-FX(CPU)プロトコルを使用する場合)

CPU	機能拡張ボード	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
				
FX <sub>1S</sub> , FX <sub>1N</sub>	FX <sub>1N</sub> -232-BD	RS-232C <sup>*1</sup> < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ
			三菱電機(株) F2-232CAB-1 (3m)	
	FX <sub>1N</sub> -422-BD <sup>*2</sup>	/	CA3-CBL232/5M-01(5m)	ST401/ST403
			三菱電機(株) FX-232CAB-1 (3m)	
FX <sub>2N</sub>	FX <sub>2N</sub> -232-BD	RS-232C <sup>*1</sup> < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ
			三菱電機(株) F2-232CAB-1 (3m)	
	FX <sub>2N</sub> -422-BD <sup>*2</sup>	/	CA3-CBL232/5M-01(5m)	ST401/ST403
			三菱電機(株) FX-232CAB-1 (3m)	
FX <sub>3UC</sub> , FX <sub>3U</sub>	FX <sub>3U</sub> -232-BD, FX <sub>3U</sub> -232ADP	RS-232C <sup>*1</sup> < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ
			三菱電機(株) F2-232CAB-1 (3m)	
	FX <sub>3U</sub> -422-BD <sup>*2</sup>	/	CA3-CBL232/5M-01(5m)	ST401/ST403
			三菱電機(株) FX-232CAB-1 (3m)	
FX <sub>3U</sub> -422-BD + 三菱電機RS232C/ RS-422変換ユニット FX-232AW <sup>*3</sup>	/	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ
			三菱電機(株) F2-232CAB-1 (3m)	
FX <sub>3U</sub> -422-BD + 2ポートアダプタII GP070-MD11 <sup>*4</sup>	/	RS-422 (結線図については「三菱PLC 用2ポートアダプタ 取扱説明 書」参照)	GP070-MDCB11(5m)	GP/GLC シリーズ
			または、 自作RS-422ケーブル	
		「STとの接続」 の1-6ページ「2 ポートアダプタを 接続して使用する 場合」参照	—————	ST400/ST403

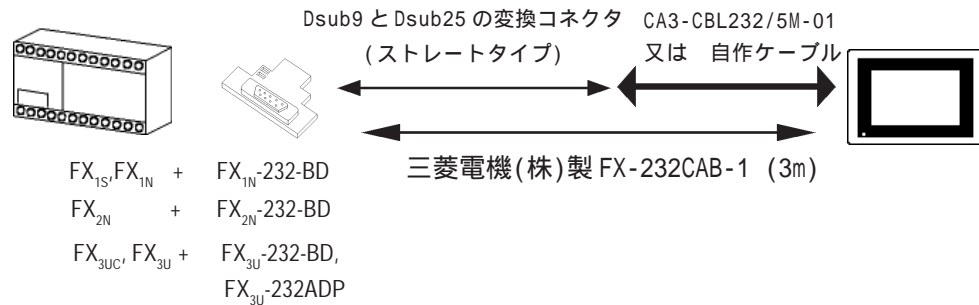
\*1 GP/GLC シリーズの場合

GP410-IS00-0を使用する場合、PLC側にDsub9とDsub25の変換コネクタ(ストレートタイプ)が必要です。F2-232CAB-1を使用する場合、変換コネクタは必要ありません。



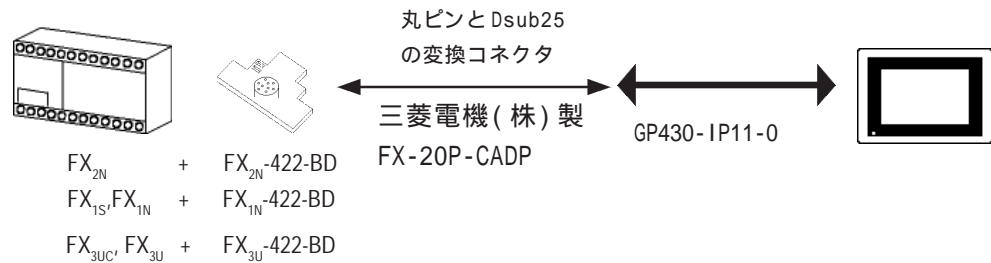
STシリーズの場合

CA3-CBL232/5M-01を使用する場合、PLC側にDsub9とDsub25の変換コネクタ(ストレートタイプ)が必要です。FX-232CAB-1を使用する場合、変換コネクタは必要ありません。

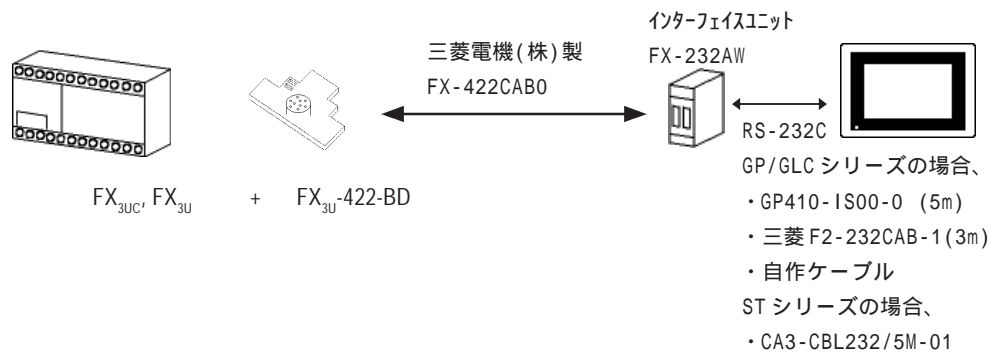


\*2 丸コネクタ(8P)Dサブコネクタ(25P)の変換ケーブル三菱電機(株)製 FX-20P-CADPが必要です。

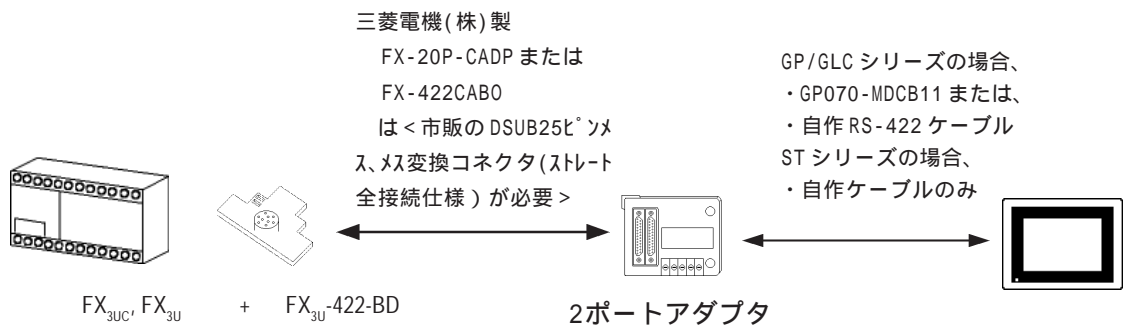
GP/GLCシリーズの場合



\*3 FX3UCと接続する場合は、インターフェイスユニットとFX3U-422-BDを三菱電機(株)製FX-422CAB0で接続する必要があります。

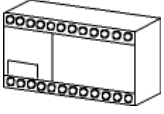



\*4 デジタル製2ポートアダプタ をご使用になる場合は以下のように接続する必要があります。



\*5 STシリーズでは、GP430-1P10-0 はご使用できません。

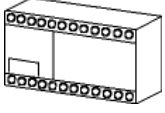
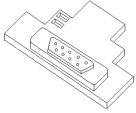


MELSEC-FX シリーズ（三菱電機 MELSEC-FX(CPU2) プロトコルを使用する場合）

CPU	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
			
FX0S, FX0N, FX1S, FX1N, FX1NC, FX2N, FX2NC, FX3UC, FX3U	RS-422 < 結線図12 > *2	GP2000-CBLFX/5M-01 (5m)	GP/GLC *1 シリーズ
		GP2000-CBLFX/1M-01 (1m)	
		CA3-CBLFX/5M-01 (5m)	ST400/ST403
		CA3-CBLFX/1M-01 (1m)	

\*1 GP377シリーズを除く GP70シリーズは使用できません。

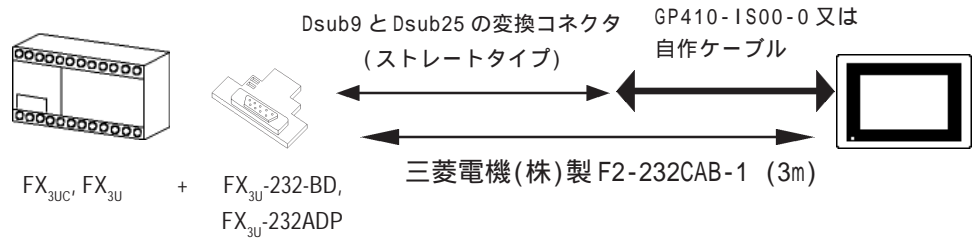
\*2 PLCとの接続には、必ず右記のオプションケーブルをご使用してください。

MELSEC-FX シリーズ（機能拡張ボードで三菱電機 MELSEC-FX(CPU2) プロトコルを使用する場合）

CPU	機能拡張ボード	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機	
					
FX3UC, FX3U	FX3U-232-BD, FX3U-232ADP	RS-232C *1 < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ	
			三菱電機（株） F2-232CAB-1 (3m)		
			CA3-CBL232/5M-01(5m)	ST401/ST403	
		RS-232C < 結線図6 >	—————	GP/GLC シリーズ	
		FX3U-422-BD *2		GP430-IP11-0 (5m)*5	GP/GLC シリーズ
		FX3U-422-BD + 三菱電機RS232C/ RS-422変換ユニット FX-232AW *3	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m) 三菱電機（株） F2-232CAB-1 (3m)	GP/GLC シリーズ
	FX3U-422-BD + 2ポートアダプタII GP070-MD11 *4	RS-422 (結線図については「三菱PLC 用2ポートアダプタ 取扱説明 書」参照)	GP070-MDCB11(5m) または、 自作RS-422ケーブル	GP/GLC シリーズ	
		「STとの接 続」の1-6ペー ジ「2ポートア ダプタ を接続し て使用する場 合」参照	—————	ST400/ST403	

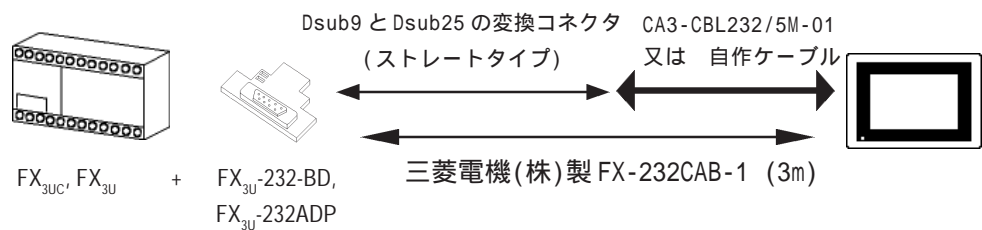
\*1 GP/GLCシリーズの場合

GP410-1S00-0を使用する場合、PLC側にDsub9とDsub25の変換コネクタ(ストレートタイプ)が必要です。F2-232CAB-1を使用する場合、変換コネクタは必要ありません。



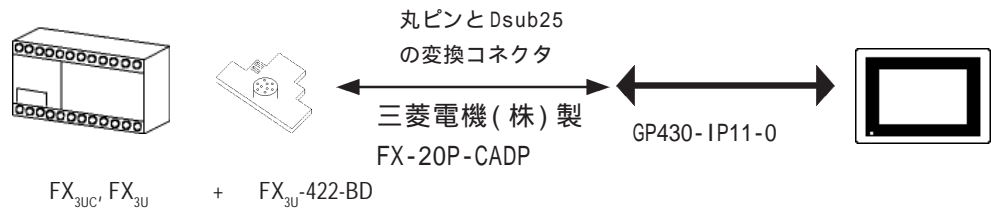
STシリーズの場合

CA3-CBL232/5M-01を使用する場合、PLC側にDsub9とDsub25の変換コネクタ(ストレートタイプ)が必要です。FX-232CAB-1を使用する場合、変換コネクタは必要ありません。

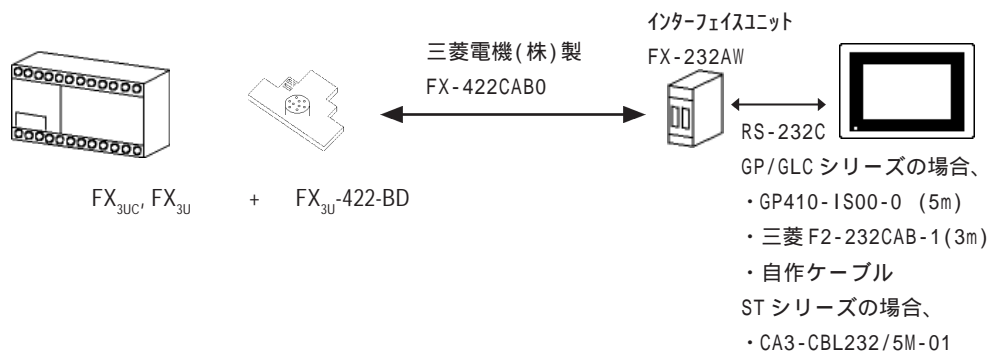


\*2 丸コネクタ(8P)Dサブコネクタ(25P)の変換ケーブル三菱電機(株)製FX-20P-CADPが必要です。

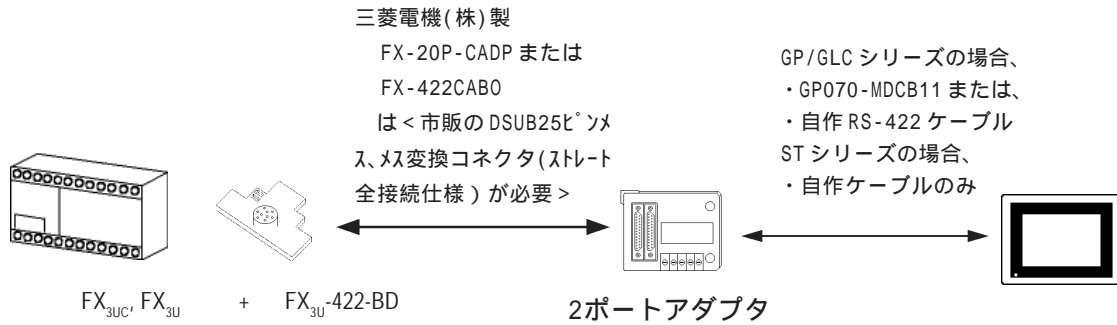
GP/GLCシリーズの場合



\*3 FX3UC, FX3Uと接続する場合は、インターフェイスユニットとFX3U-422-BDを三菱電機(株)製FX-422CAB0で接続する必要があります。



\*4 デジタル製2ポートアダプタ をご使用になる場合は以下のように接続する必要があります。



\*5 ST シリーズでは、GP430-IP10-0 はご使用できません。

MELSEC-FX シリーズ (三菱電機 MELSEC-FX 1:N 通信プロトコルを使用する場合)

CPU	アダプタ	結線図	使用可能 ケーブル	ターゲット機
FX <sub>1N</sub>	FX <sub>1N</sub> -485-BD, FX <sub>0N</sub> -485ADP+FX <sub>1N</sub> -CNV-BD	RS-422(4線式) <結線図13>	—	GP/GLC シリーズ*2
FX <sub>1NC</sub>	FX <sub>0N</sub> -485ADP			
FX <sub>2N</sub> *1	FX <sub>2N</sub> -485-BD, FX <sub>0N</sub> -485ADP+FX <sub>2N</sub> -CNV-BD	RS-422(2線式) <結線図14>	—	ST400/ST403
FX <sub>2NC</sub>	FX <sub>0N</sub> -485ADP			
FX <sub>3UC</sub> , FX <sub>3U</sub>	FX <sub>3U</sub> -485-BD, FX <sub>3U</sub> -485ADP			



\*1 PLCのシステムのバージョンがVer. 1.06以上が必要です。バージョンの確認は、データレジスタ(D8001)を読み出すことで確認できます。詳細は、三菱電機(株)製「FX2Nシリーズ マイクロシーケンサ」のマニュアルをご参照ください。

\*2 GP377 シリーズを除く GP70 シリーズは使用できません。



・1:n 接続では、最大8台の PLC と接続可能です。

## MELSEC-QnA（リンク I/F 使用）


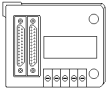


CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
	シリアルコミュニケーション ユニット / 計算機リンク ユニット 			
Q2A, Q2A-S1, Q4A	AJ71QC24 (シリアルコミュニケーションユニット) *1	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL232/5M-01 (5m)	ST401/ST403
	AJ71UC24 (計算機リンクユニット)	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
	AJ71QC24N-R4	RS-422 CN-2用 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
	RS-422 CN-1用 < 結線図5 >	—————	GP/GLC シリーズ	
		—————	ST400/ST403	
Q2AS, Q2ASH	A1SJ71QC24 (シリアルコミュニケーションユニット) *2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS(3m)	GP/GLC シリーズ
			—————	ST401/ST403
	A1SJ71UC24 (計算機リンクユニット)	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
Q2AS-S1	A1SJ71UC24-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS(3m)	GP/GLC シリーズ
			—————	ST401/ST403
	A1SJ71UC24-R4	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
	A1SJ71QC24N	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS(3m)	GP/GLC シリーズ
			—————	ST401/ST403
		RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403
A1SJ71QC24N1	RS-232C < 結線図15 >	GP000-IS02-MS(3m)	GP/GLC シリーズ	
		RS-422 < 結線図16 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
Q4AR	AJ71QC24N	RS-232C < 結線図1 >	GP410-IS00-0 (5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL232/5M-01 (5m)	ST401/ST403
		RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m)	GP/GLC シリーズ
			CA3-CBL422/5M-01 (5m)	ST400/ST403

\*1 シリアルコミュニケーションユニットのバージョンは、ROM:7179B-以上が必要です。

\*2 シリアルコミュニケーションユニットのバージョンは、ROM:7179M-以上が必要です。



MELSEC-QnA（CPU 直結）

CPU	アダプタ	結線図	使用可能なケーブル	ターゲット機
				
Q4A, Q2A, Q2AS, Q2AS-S1, Q2A-S1, Q2ASH, Q4AR	/	RS-422 < 結線図11 > *3	GP430-IP10-0(5m) *5	GP/GLC シリーズ
			GP2000-CBLA/5M-01(5m) *6 CA3-CBLA-01(5m) *7	ST400/ST403
Q4A, Q2A, Q2AS, Q2AS-S1	2ポート アダプタ *1 GP030-MD11-0 *2	RS-422 結線図については 「三菱PLC用2ポートア ダプタ取扱説明書」 参照	GP430-IP10-0(5m) *4 *5	GP/GLC シリーズ
Q4A, Q2A, Q2ASH, Q2AS-S1, Q2A-S1	2ポート アダプタ *1 GP070-MD11 *2	RS-422 三菱PLC用2ポートア ダプタ 取扱説明書 参照	GP070-MDCB11(5m) または自作ケーブル	GP/GLC シリーズ
		「STとの接続」の1- 6ページ「2ポートア ダプタ を接続して使 用する場合」参照	—————	ST400/ST403

\*1 2ポートアダプタ を使用する場合、接続可能なPLCは更新されることがありますので、「三菱PLC2ポートアダプタ 取扱説明書」も併せてご覧ください。

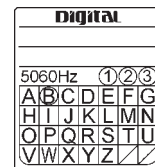
\*2 GPとPLCの通信中にラダーツールからプログラムの読み書きを行った場合、正常に終了しない事があります。その場合は一度、GPをオフラインモードにしてプログラムの読み書きを行ってください。

\*3 この結線は、GP2000/GLC2000シリーズ及びSTシリーズでご使用できます。その他のシリーズは、GP430-IP10-0をご使用ください。

\*4 STシリーズではGP430-IP11-0をご使用できません。



・(株)デジタル製2ポートアダプタ GP030-MD11-0には右記のシールが貼られています。MELSEC-QnAに対応しているものは、B以降に がついています。

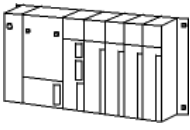





\*5 このケーブルを使用する場合、ターゲット機の通信方式は「RS-232C」に設定してください。

\*6 GP2000シリーズ、GLC2000シリーズのみ使用できます。

\*7 STシリーズのみ使用できます。

## MELSEC-Q（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
	シリアルコミュニケーション ユニット / 計算機リンク ユニット 			
Q02CPU-A, Q02HCPU-A, Q06HCPU-A	A1SJ71UC24-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS (3m) —————	GP/GLC シリーズ ST401/ST403
	A1SJ71UC24-R4	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU, Q00CPU, Q01CPU, Q00JCPU	QJ71C24 QJ71C24N	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS (3m) —————	GP/GLC シリーズ ST401/ST403
		RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
	QJ71C24N-R4	RS-422 < 結線図2 >	GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
			GP230-IS11-0(5m) CA3-CBL422/5M-01(5m)	GP/GLC シリーズ ST400/ST403
	QJ71C24-R2 QJ71C24N-R2	RS-232C < 結線図3 >	GP000-IS02-MS (3m) —————	GP/GLC シリーズ ST401/ST403



- ・ MELSEC-Qシリーズでリンク I/Fを使用する場合、使用可能デバイスは、MELSEC-Qシリーズを参照してください。

MELSEC-Q (CPU 直結)

CPU	結線図	使用可能ケーブル	ターゲット機
			
Q02CPU-A Q02HCPU-A Q06HCPU-A Q02CPU Q02HCPU Q06HCPU Q12HCPU Q25HCPU Q00CPU* <sup>4</sup> Q01CPU* <sup>4</sup> Q00JCPU* <sup>4</sup>	RS-232C < 結線図9 >	三菱電機（株）製 QC30R2(3m) (別途9ピン25ピン変換アダプタが必要)	GP/GLCシリーズ
		三菱電機（株）製 QC30R2(3m) (変換アダプタ不要)	ST401/ST403
	RS-232C < 結線図10 >	GP2000-CBLQ/5M-01(5m) <sup>*2</sup> Diatrend製 DQCABR2-H(3m) <sup>*1</sup>	GP/GLCシリーズ
		CA3-CBLQ-01(5m) <sup>*3</sup> Diatrend製 DQCABR2-H(3m) <sup>*1</sup> (別途9ピン25ピン変換アダプタが必要)	ST401/ST403

\*1 ケーブル長を指定する場合は、(\*m)で指定します。

指定可能なケーブル長については、Diatrendまでお問い合わせください。

\*2 GP2000シリーズ、GLC2000シリーズのみ使用できます。

\*3 STシリーズのみ使用できます。

\*4 三菱電機 MELSEC-QUTE(CPU) プロトコルを使用する場合は、GP-377を除く GP70シリーズは使用できません。

## 2.1.2 結線図

以下に示す結線図と三菱電機（株）の推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

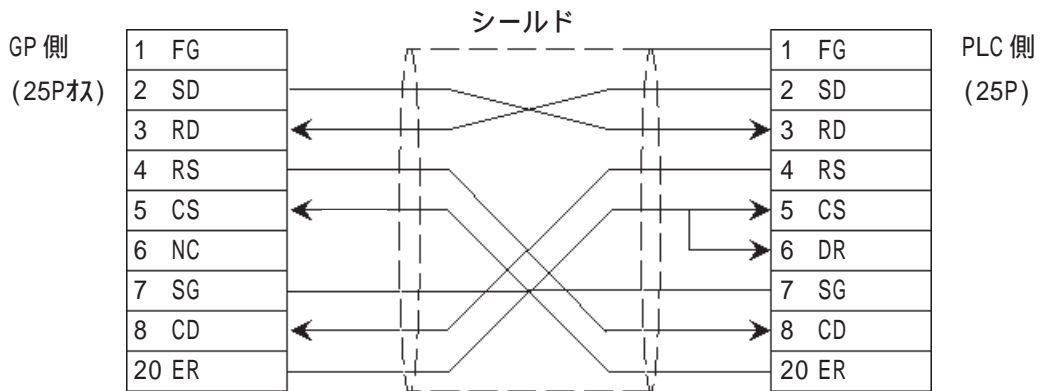
**強制** ・ PLC 本体の FG 端子は、D 種接地を行ってください。

**重要** ・ シールド線への FG の接続は、設置環境によって PLC 側、GP 側のどちらかを選択してください。コネクタフードを使って FG を落とす場合は導電性のあるものをお使いください。（結線例は PLC 側に接続した場合の図です。）

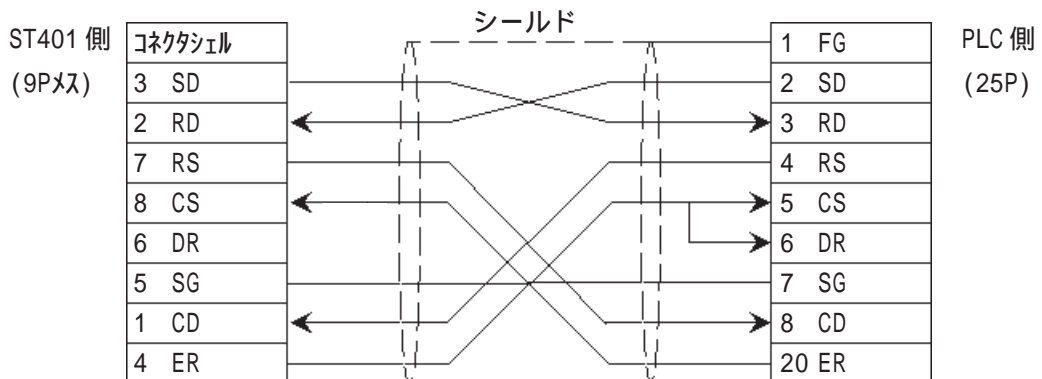
- ・ RS-232C 接続の場合は、ケーブル長は 15m 以内にしてください。
- ・ RS-422 接続の場合は、ケーブル長は 500m 以内にしてください。
- ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ず SG を接続してください。

### < 結線図 1 >

#### GP/GLC シリーズの場合



#### ST401/ST403 の場合

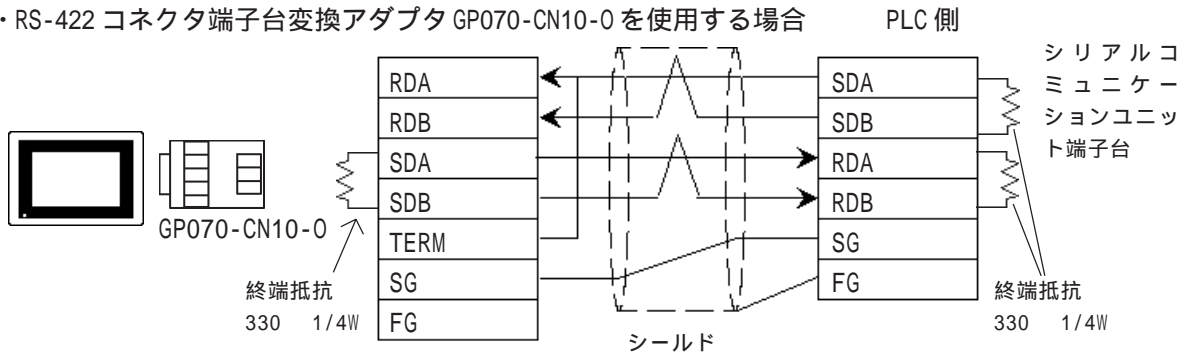


< 結線図 2 >

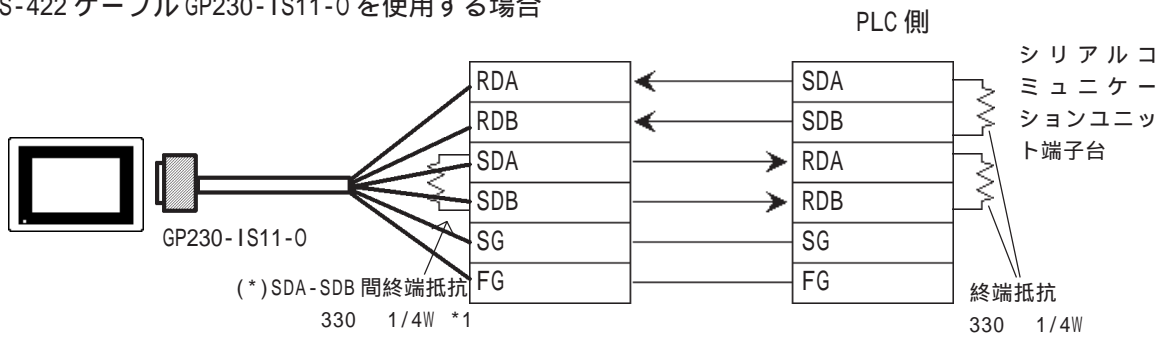
- 重要**
- ・ PLC側の終端抵抗スイッチをONにしてください。
  - ・ PLC側において使用するユニットによりディップSWがついていない場合、SDA-SDB間とRDA-RDB間のそれぞれに終端抵抗 330 1/2Wもしくは330Ω1/4Wが必要となります。詳細はPLCのマニュアルをご参照ください。

GP/GLCシリーズの場合

- ・ RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合

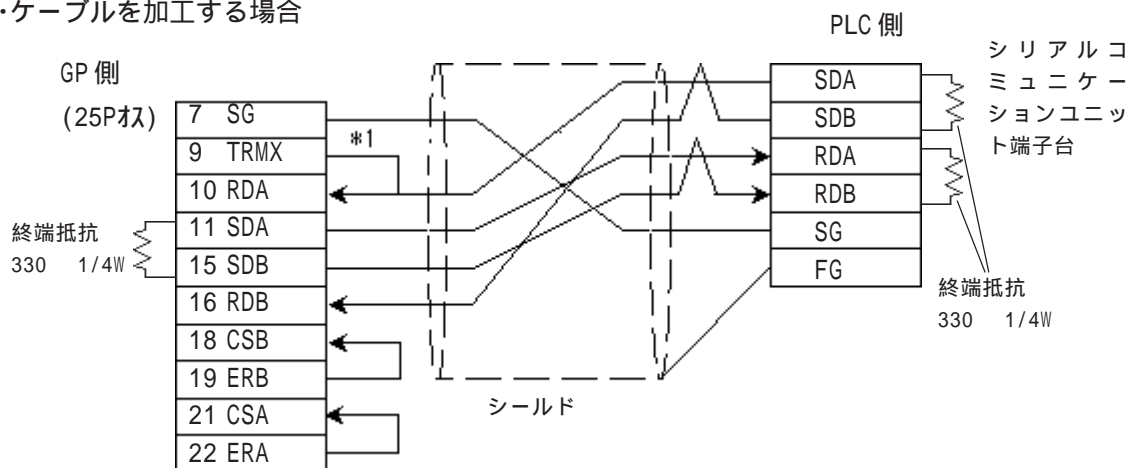


- ・ RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



\*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。

- ・ ケーブルを加工する場合



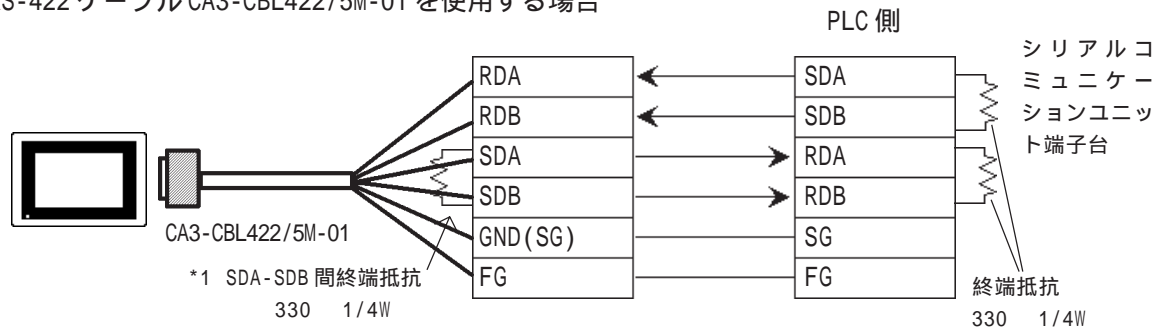
\*1 シリアルI/Fの9番ピンと10番を短絡することでRDA-RDB間に100 の終端抵抗が挿入されます。



- ・ 接続ケーブルとして三菱電線工業（株）製 SPEV(SB)-MPC-0.2\*3P を推奨します。

## ST400/ST403 の場合

- ・RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 を使用する場合

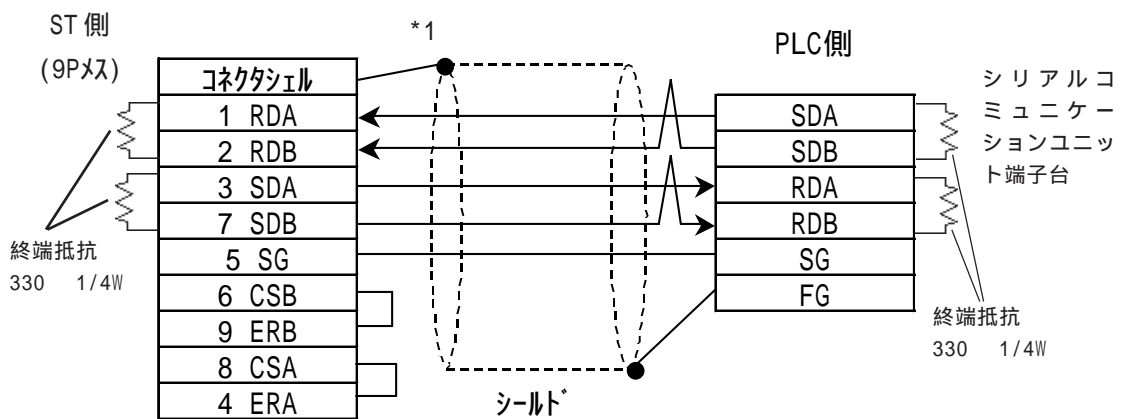


- \*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。



- ・ FG端子をFGに接続してください。FGの接続については「STとの接続について」1-5ページの\*1を参照。

- ・ケーブルを加工する場合



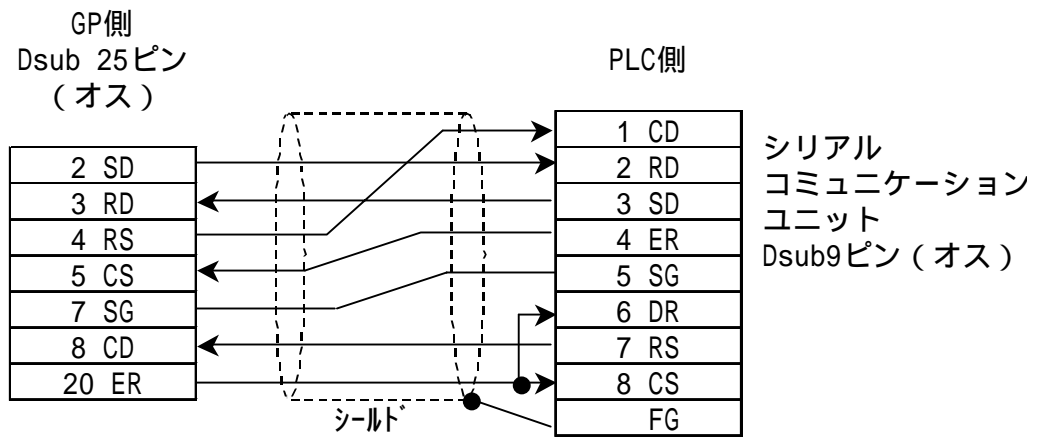
- \*1 シールドをコネクタシールドに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS422 インターフェースを使用する場合 (ST400/ST403)」の **重要** の内容を参照してください。



- ・ 接続ケーブルとして三菱電線工業（株）製 SPEV(SB)-MPC-0.2\*3P を推奨します。

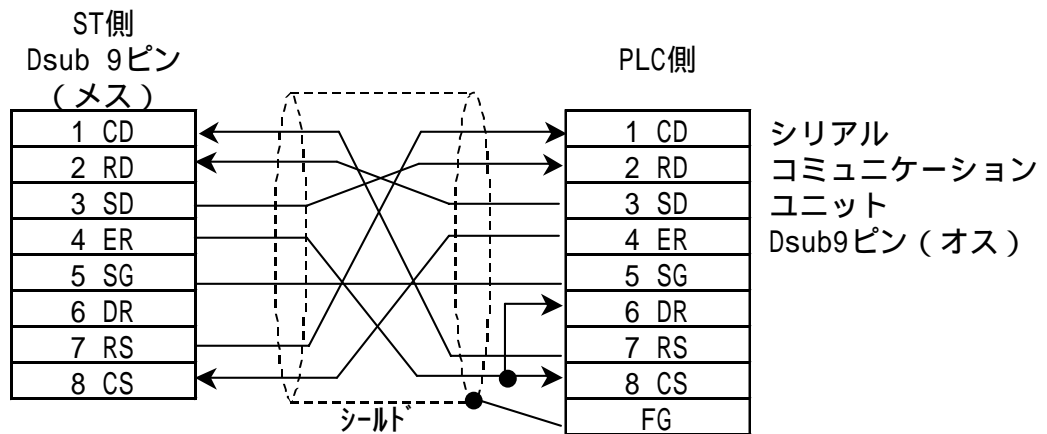
< 結線図 3 >

GP/GLC シリーズの場合



強制・ シールド線は、PLC側の端子台のFGに接続してください。

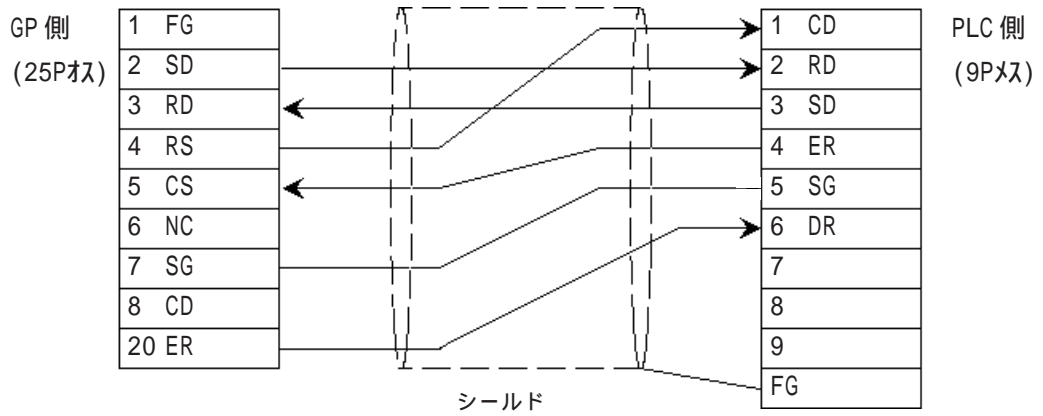
ST401/ST403 の場合



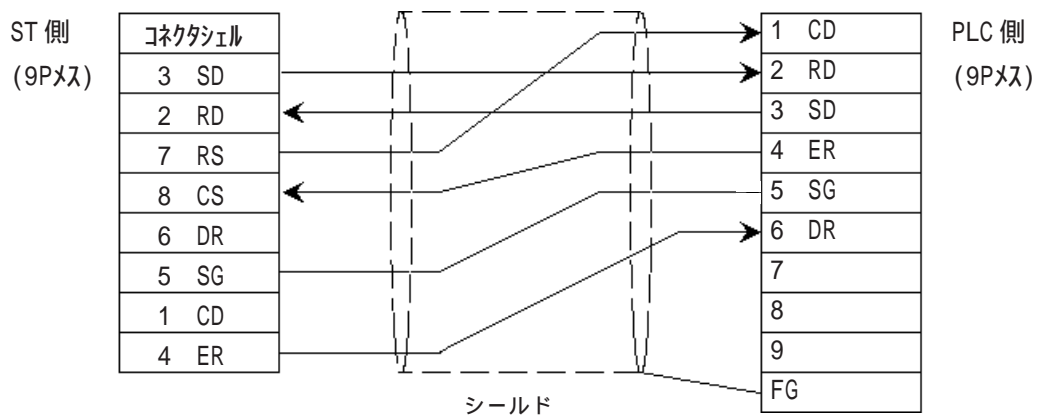
強制・ シールド線は、PLC側の端子台のFGに接続してください。

< 結線図 4 >

GP/GLCシリーズの場合



ST401/ST403の場合

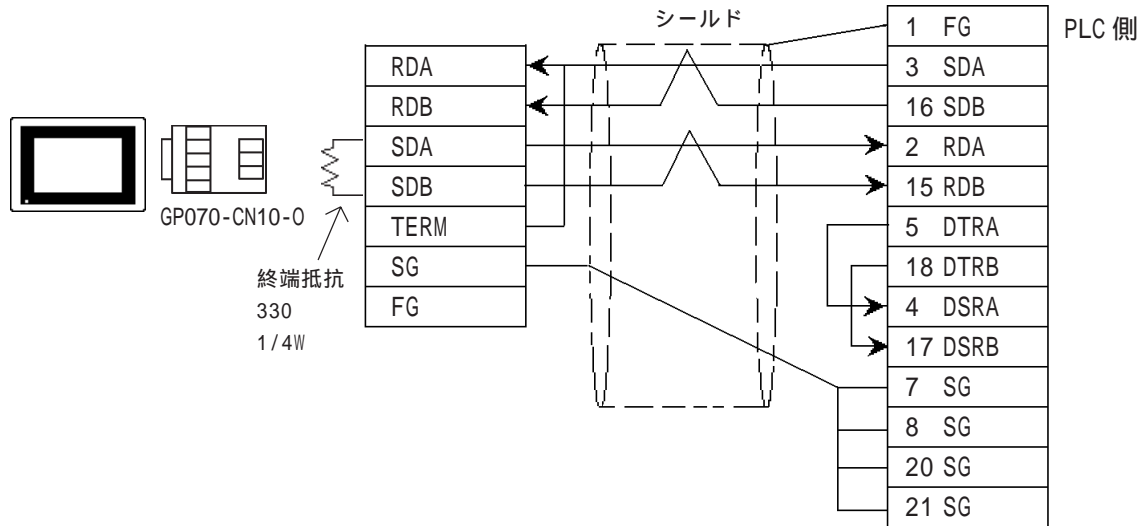




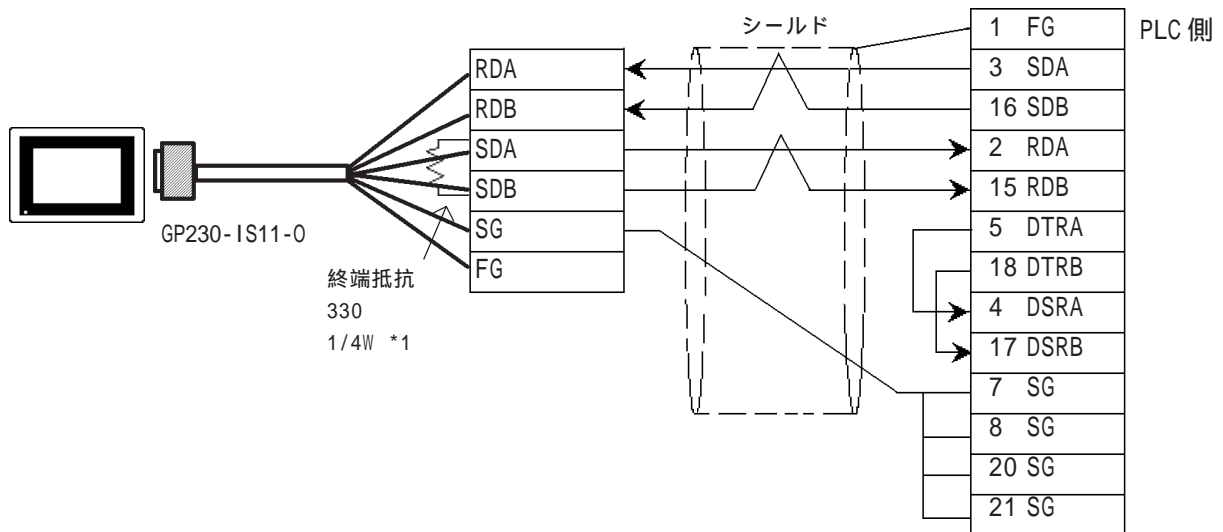
< 結線図 5 >

GP/GLC シリーズの場合

- ・ RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合

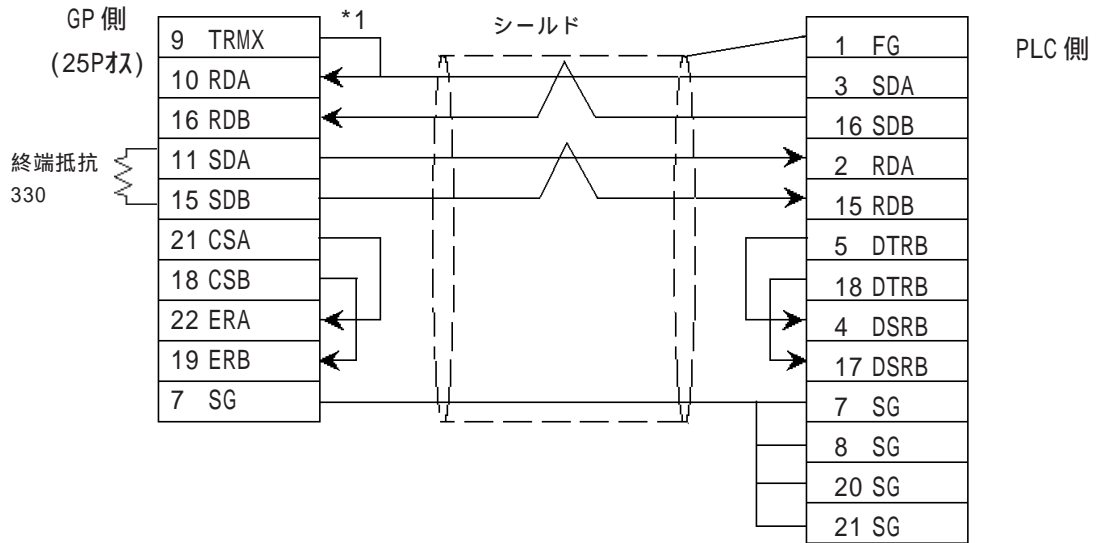


- ・ RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



\*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。

・ケーブルを加工する場合



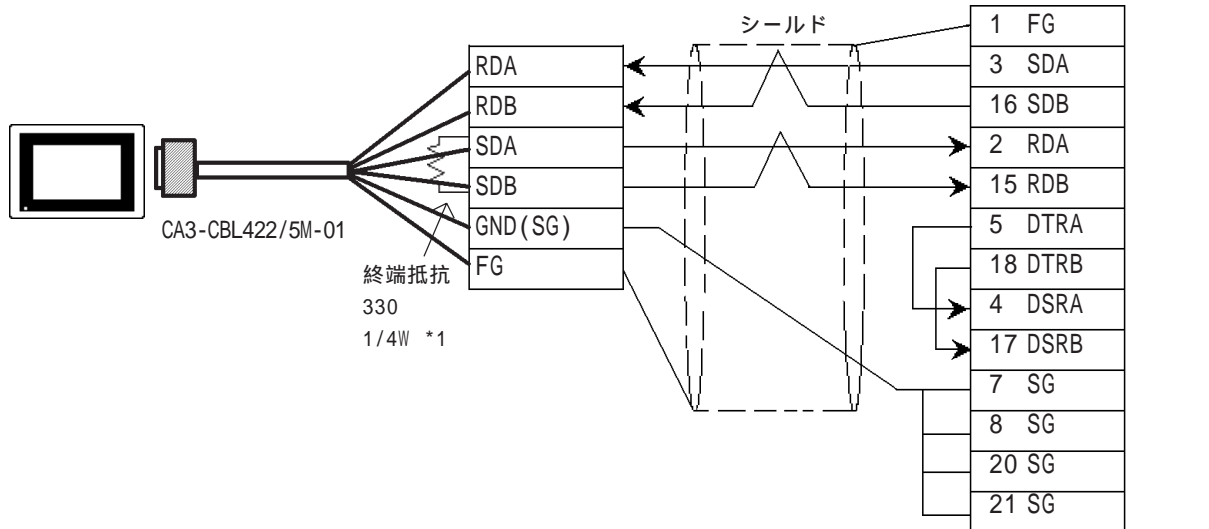
\*1 シリアル I/F の 9 番ピンと 10 番を短絡することで RDA-RDB 間に 100 Ω の終端抵抗が挿入されます。



・ 接続ケーブルとして三菱電線工業（株）製 SPEV(SB)-MPC-0.2\*3P を推奨します。

ST400/ST403 の場合

・ RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 を使用する場合

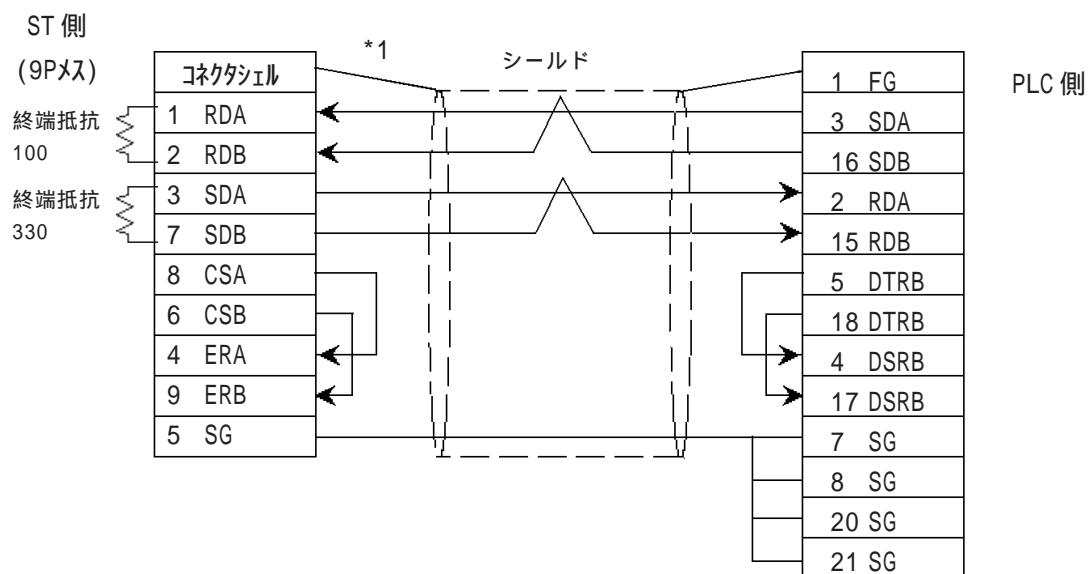


\*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。



・ FG端子をFGに接続してください。FGの接続については「STとの接続について」1-5ページの\*1を参照。

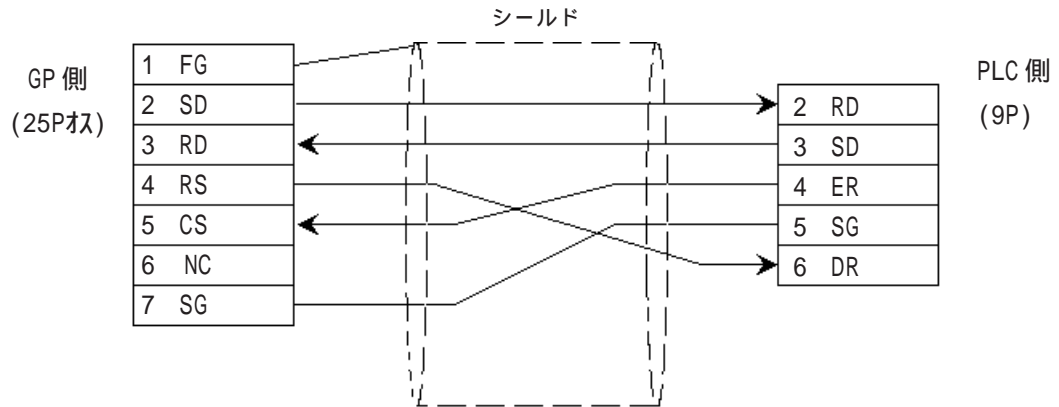
・ケーブルを加工する場合



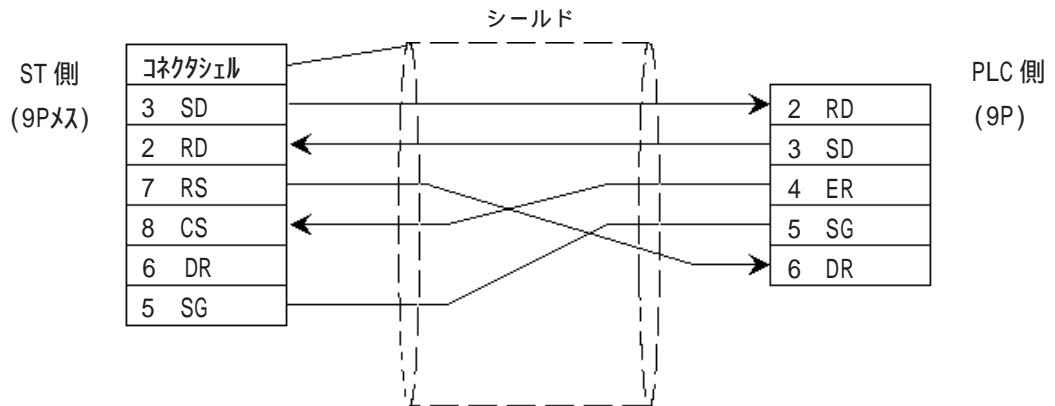
\*1 シールドをコネクタシェルに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS422 インターフェースを使用する場合（ST400/ST403）」の **重要** の内容を参照してください。

< 結線図 6 >

GP/GLC シリーズの場合



ST401/ST403 の場合

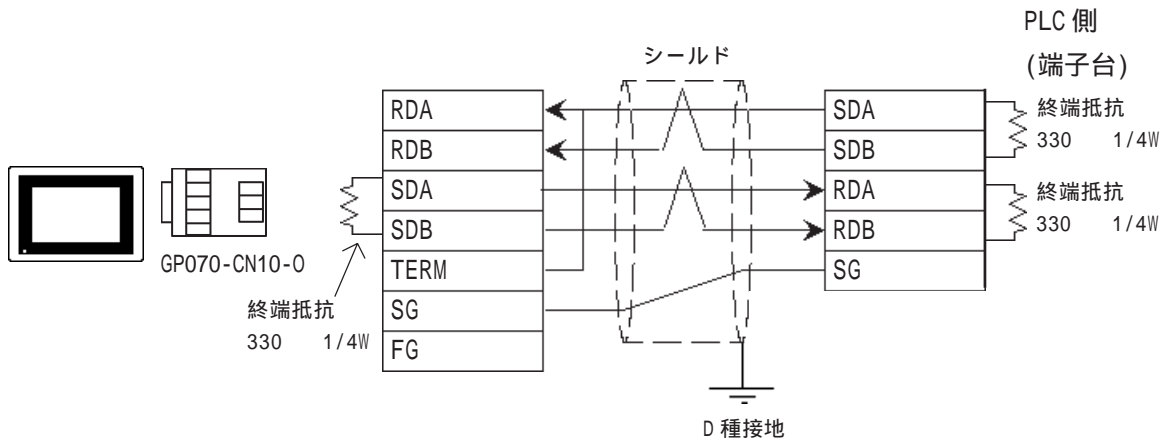


< 結線図 7 >

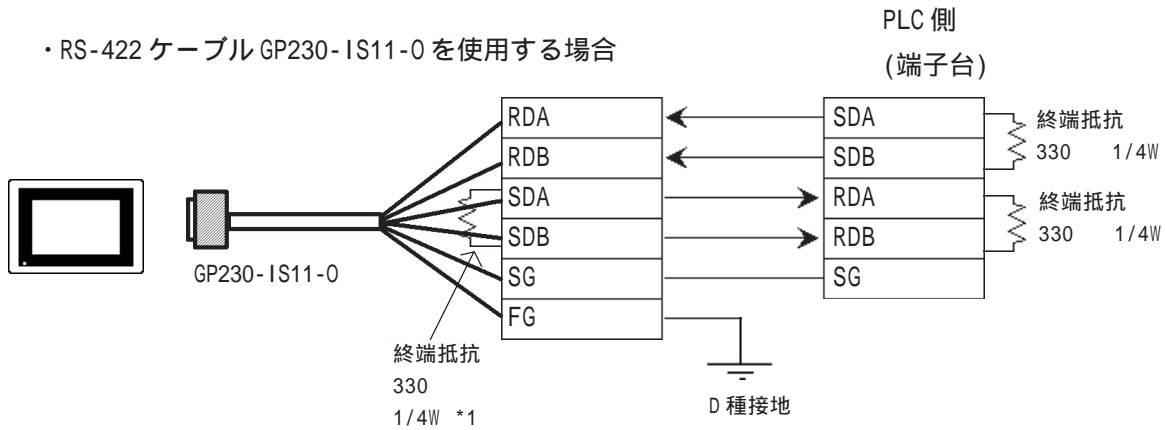
- 重要**
- ・ PLC側において、SDA-SDB間とRDA-RDB間のそれぞれに終端抵抗 330 Ω が必要となります。
  - ・ FX2N-485-BD、FX1N-485-BDもしくはFX3U-485-BDを使用される場合は、ケーブル総延長距離は50m以内にしてください。
  - ・ FX3UCの場合、終端抵抗は機能拡張ボードFX3U-485-BDに内蔵されています。4線式の場合は330 Ω にディップスイッチ切り替えてください。

GP/GLCシリーズの場合

- ・ RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合

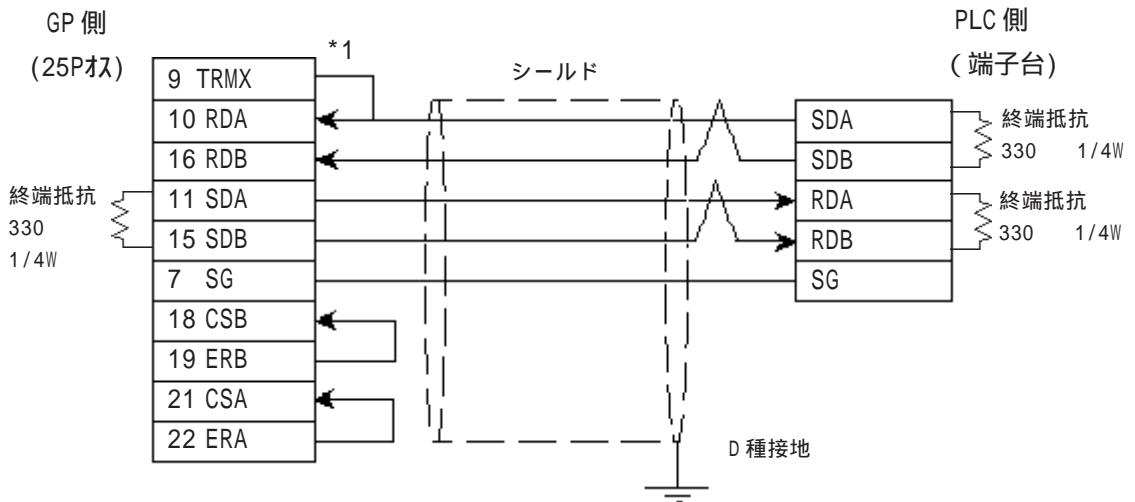


- ・ RS-422 ケーブル GP230-IS11-0を使用する場合



\*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。

・ケーブルを加工する場合



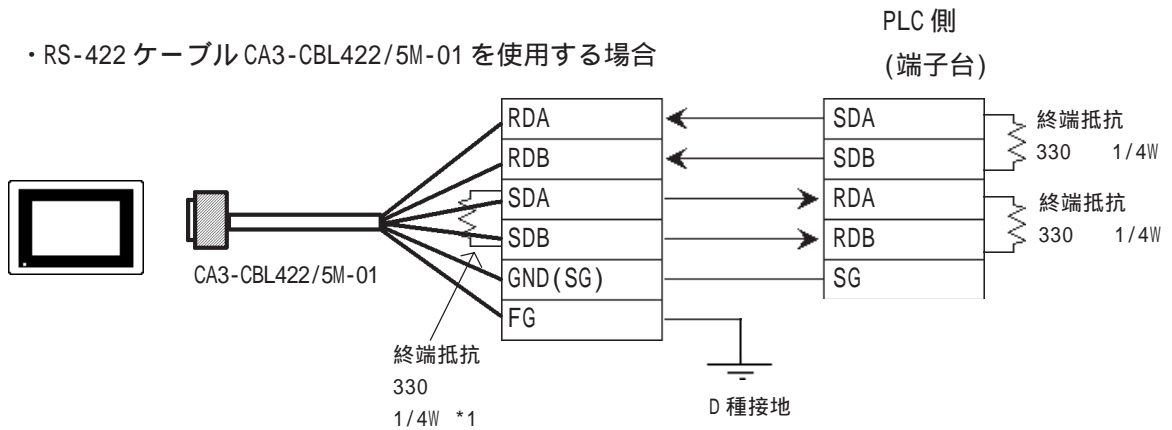
\*1 シリアル I/F の 9 番ピンと 10 番を短絡することで RDA-RDB 間に 100 Ω の終端抵抗が挿入されます。



・ 接続ケーブルとして三菱電線工業（株）製 SPEV(SB)-MPC-0.2\*3P を推奨します。

ST400/ST403 の場合

・ RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 を使用する場合

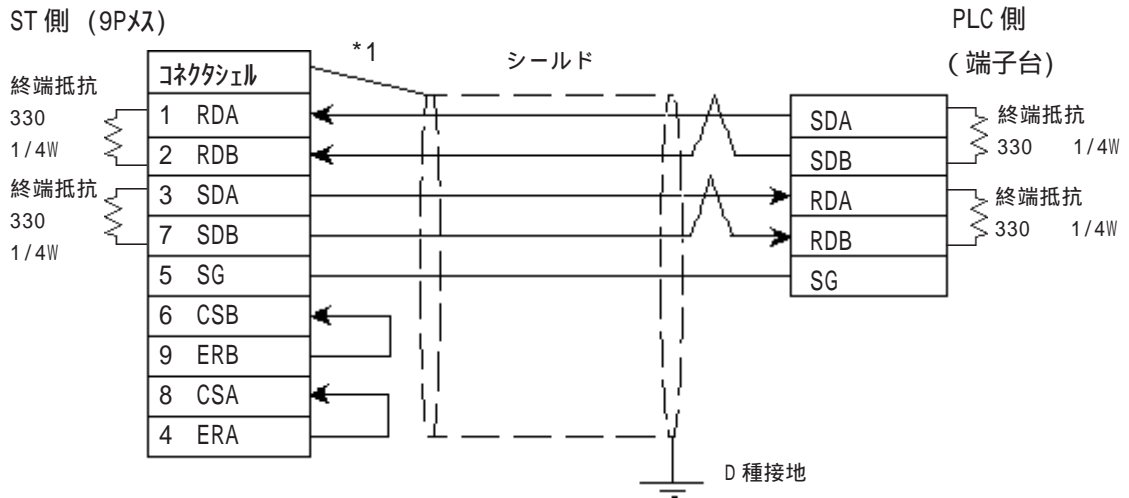


\*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。



・ STシリーズの場合、FG端子をFGに接続してください。FGの接続について「STとの接続について」1-5ページの\*1を参照。

・ケーブルを加工する場合



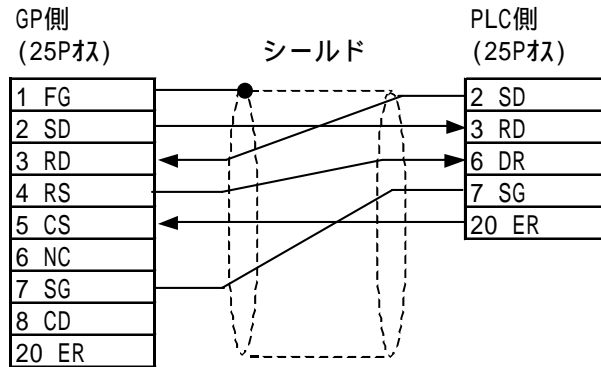
\*1 シールドをコネクタシェルに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS422 インターフェースを使用する場合（ST400/ST403）」の **重要** の内容を参照してください。



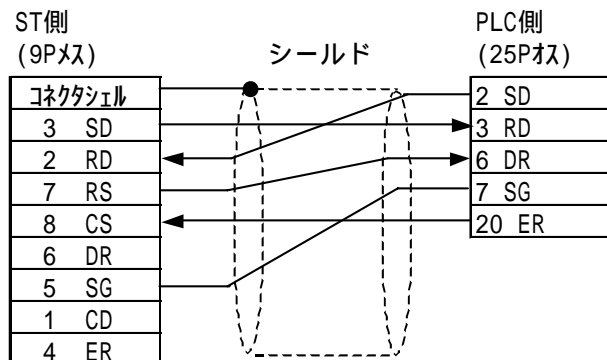
・ 接続ケーブルとして三菱電線工業（株）製 SPEV(SB)-MPC-0.2\*3P を推奨します。

< 結線図 8 >

GP/GLC シリーズの場合



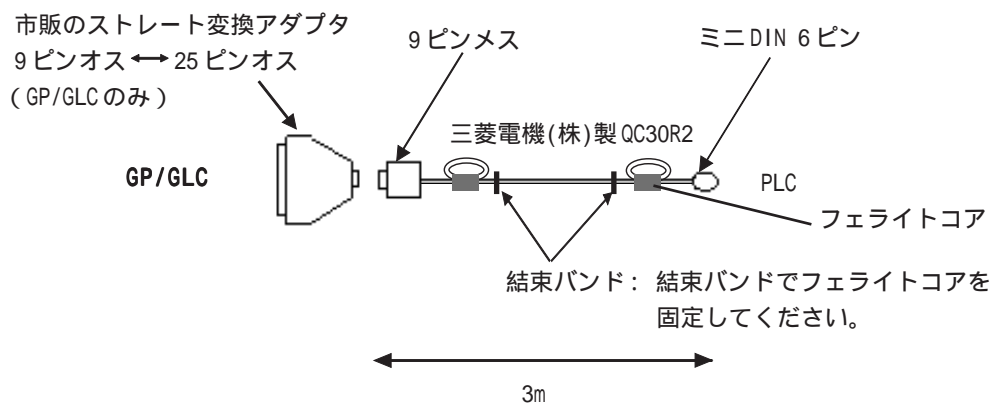
ST401/ST403 の場合



## &lt; 結線図 9 &gt;

- 重要**
- ・ ご使用のケーブルには、耐ノイズ性向上のために、フェライトコアを装着されることをお勧めします。
  - ・ フェライトコアは、ケーブル両端のコネクタにより近い部分に取り付けてください。また、図のようにケーブルをフェライトコアに巻き付ける（1ターン）と、より耐ノイズ性が向上します。
  - ・ 通信ケーブルを3m以上でご使用になる場合は、Diatrend製ケーブルをご使用ください。
  - ・ ケーブル長は15m以内にしてください。

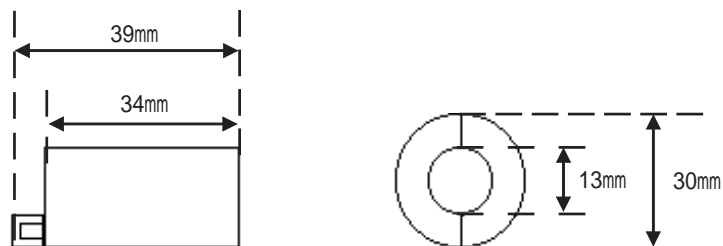
## GP/GLC シリーズの場合



## &lt; 推奨フェライトコア &gt;

メーカー：星和電機 株式会社

型式：E04SR301334



- ・ 同サイズのものであれば、他社製フェライトコアでも使用できます。



### 変換アダプタの仕様

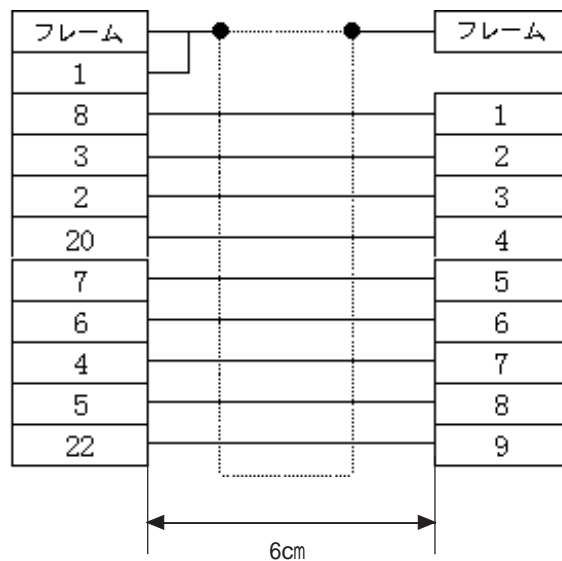
- ・ストレート結線タイプ
- ・D-Sub 25 ピンオス      ロックネジ(ミリ)
- ・D-Sub 9 ピンオス      ロックナット(インチ)

< 動作確認アダプタ : ロアス(株) 型番 ZA-403 >

### 変換アダプタの結線仕様

D-Sub 25 ピンオス  
ロックネジ(ミリ)

D-Sub 9 ピンオス  
ロックナット(インチ)



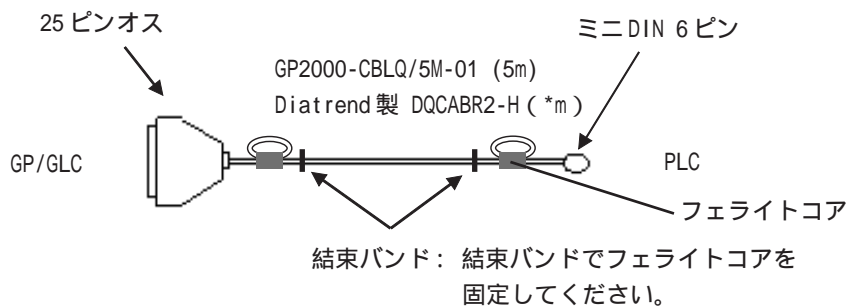
### ST401/ST403 の場合

ST401/ST403 の場合、変換アダプタは不要です。直接、接続できます。

< 結線図 10 >

- 重要**
- ・ ご使用のケーブルには、耐ノイズ性向上のために、フェライトコアを装着されることをお勧めします。
  - ・ フェライトコアは、ケーブル両端のコネクタにより近い部分に取り付けてください。また、図のようにケーブルをフェライトコアに巻き付ける(1ターン)と、よりより耐ノイズ性が向上します。
  - ・ 通信ケーブルを5m以上でご使用になる場合は、Diatrend製ケーブルをご使用ください。
  - ・ ケーブル長は15m以内にしてください。

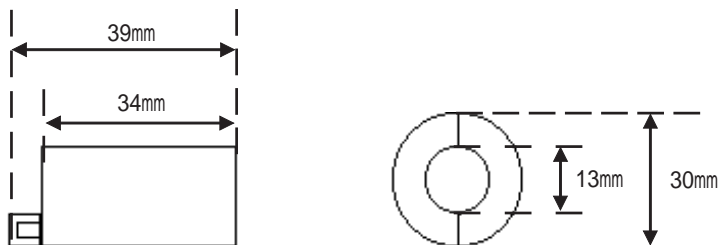
GP/GLC シリーズの場合



< 推奨フェライトコア >

メーカー：星和電機 株式会社

型式：E04SR301334



- ・ 同サイズのものであれば、他社製フェライトコアでも使用できます。

ST401/ST403 の場合

DQCABR2-Hを使用する場合、以下のような市販の9ピン 25ピン変換アダプタが必要です。  
結線は30ページの変換アダプタの結線仕様と同じです。

CA3-CBLQ-01を使用する場合は直接接続できます。

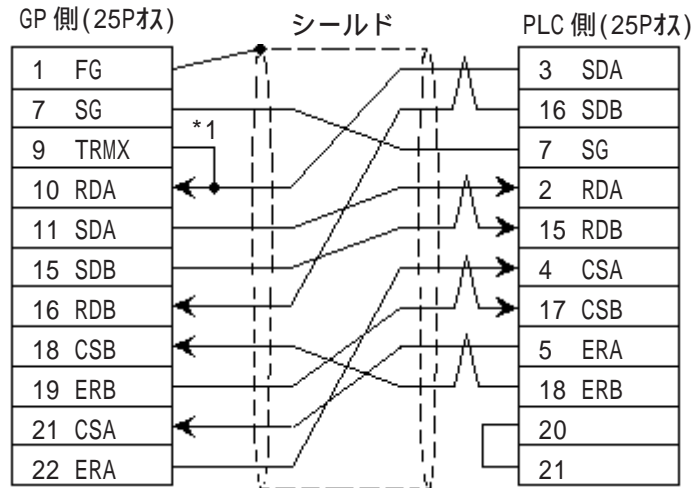
< 変換アダプタの仕様 >

- ・ ストレート結線タイプ
- ・ D-sub9 ピンメス ロックネジ(インチ)
- ・ D-sub25 ピンメス ロックナット(ミリ)

< 結線図 11 >

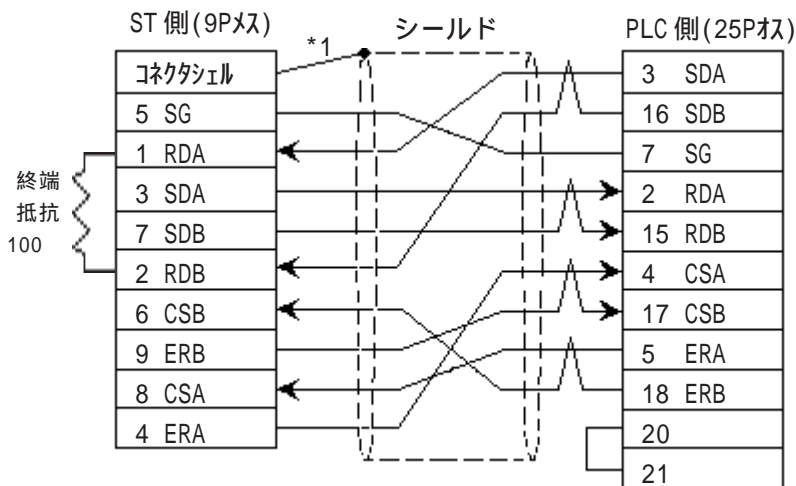
**重要** ・ この結線は、GP2000/GLC2000 シリーズ及び ST400/ST403 のみご  
使用できます。

GP2000/GLC2000 シリーズの場合



\*1 シリアル I/F の 9 番ピンと 10 番を短絡することで RDA-RDB 間に 100 の終端抵抗  
が挿入されます。

ST400/ST403 の場合

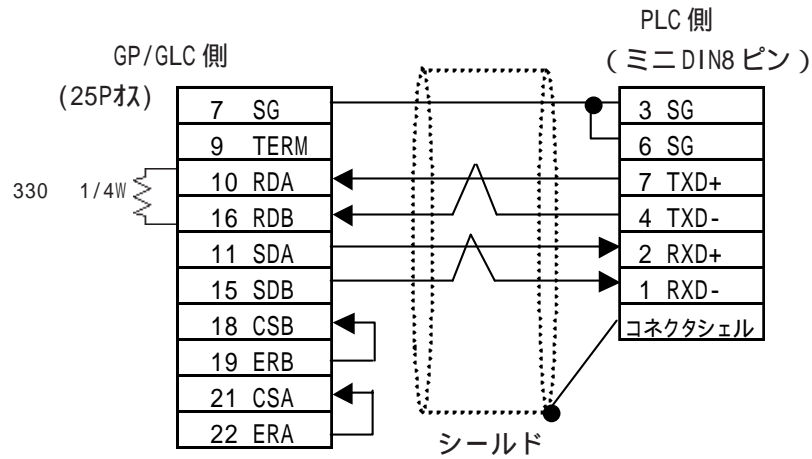


\*1 シールドをコネクタシールドに接続してください。また、FG接続については  
「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS422 インターフェース  
を使用する場合（ST400/ST403）」の **重要** の内容を参照してください。

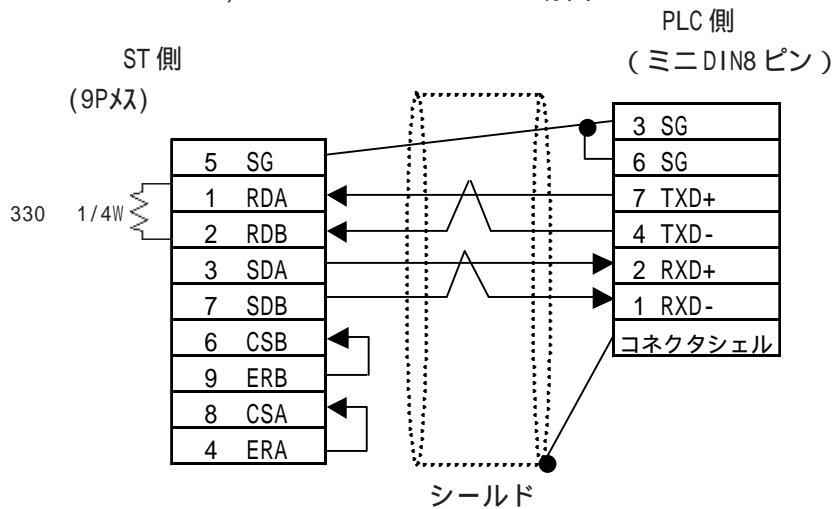
< 結線図 12 >

オプションケーブルの結線は以下の通りですが、P L C との接続には必ずオプションケーブルをご使用ください。

- GP2000-CBLFX/5M-01, GP2000-CBLFX/1M-01 の場合



- CA3-CBLFX/5M-01, CA3-CBLFX/1M-01 の場合

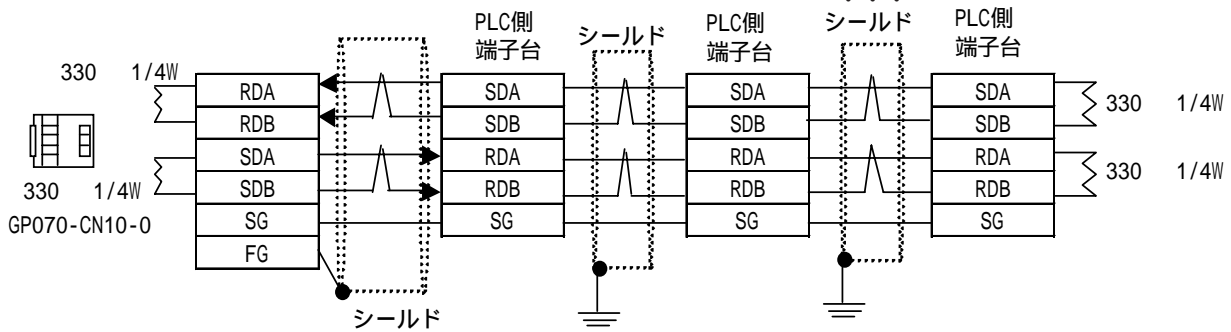


< 結線図 13 >

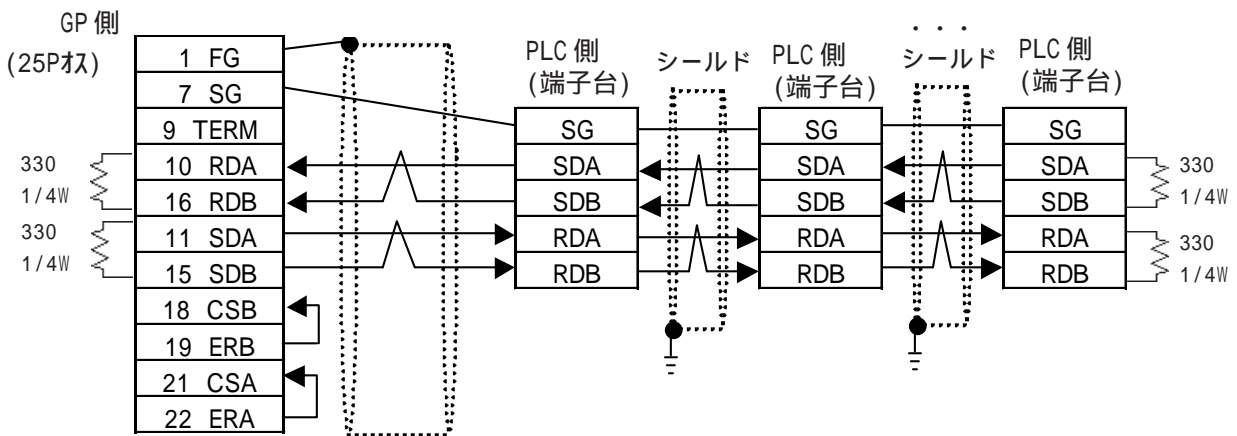
- 重要**
- FX<sub>ON</sub>-485ADPのみで構成する場合は、最大ケーブル長は500m、FX<sub>IN</sub>-485-BD、FX<sub>2N</sub>-485-BDもしくはFX3U-485-BDが含まれる場合は、最大ケーブル長は50mとなります。
  - ケーブルの両端に位置するGPとPLCには終端抵抗をつけてください。
  - PLCは原則としてケーブルの両端のどちらかに接続してください。
  - FX3UCの場合、終端抵抗は機能拡張ボードFX3U-485-BDに内蔵されています。4線式の場合は330 にディップスイッチ切り替えてください。

GP/GLCシリーズの場合

・RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合

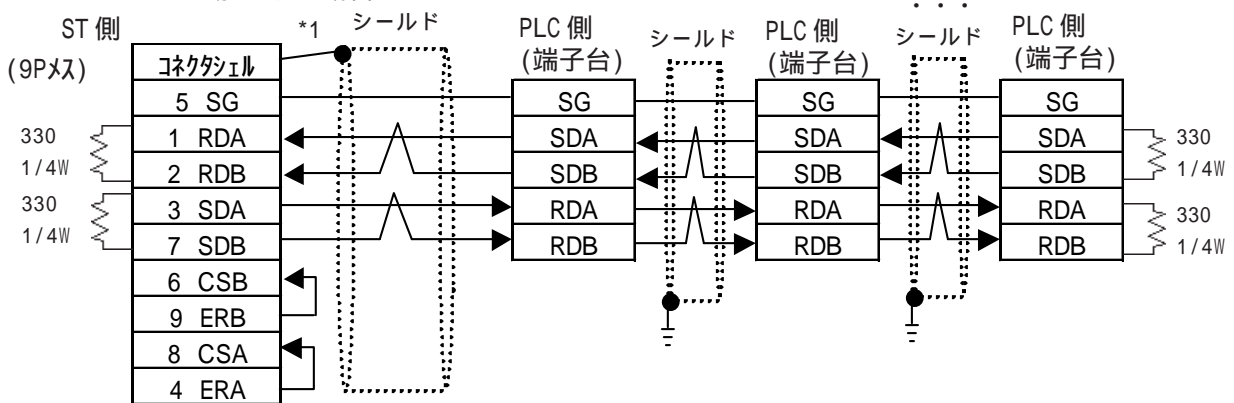


・ケーブルを加工する場合



ST400/ST403の場合

・ケーブルを加工する場合



\*1 シールドをコネクタシェルに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS422 インターフェースを使用する場合（ST400/ST403）」の**重要**の内容を参照してください。

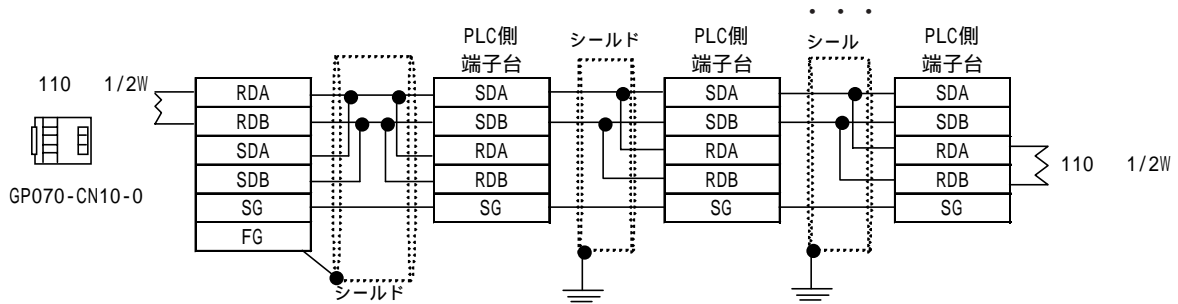
## &lt; 結線図 14 &gt;

**重要**

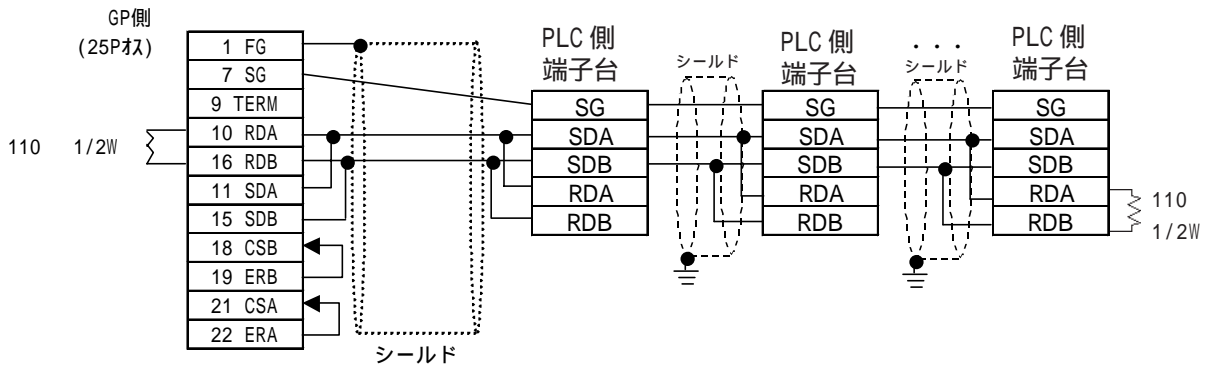
- ・ FX<sub>ON</sub>-485ADPのみで構成する場合は、最大ケーブル長は500m、FX<sub>1N</sub>-485-BD、FX<sub>2N</sub>-485-BDもしくはFX3U-485-BDが含まれる場合は、最大ケーブル長は50mとなります。
- ・ ケーブルの両端に位置するGPとPLCには終端抵抗をつけてください。
- ・ PLCは原則としてケーブルの両端のどちらかに接続してください。
- ・ FX3UCの場合、終端抵抗は機能拡張ボードFX3U-485-BDに内蔵されています。2線式の場合は110 にディップスイッチ切り替えてください。

## GP/GLCシリーズの場合

- ・ RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合

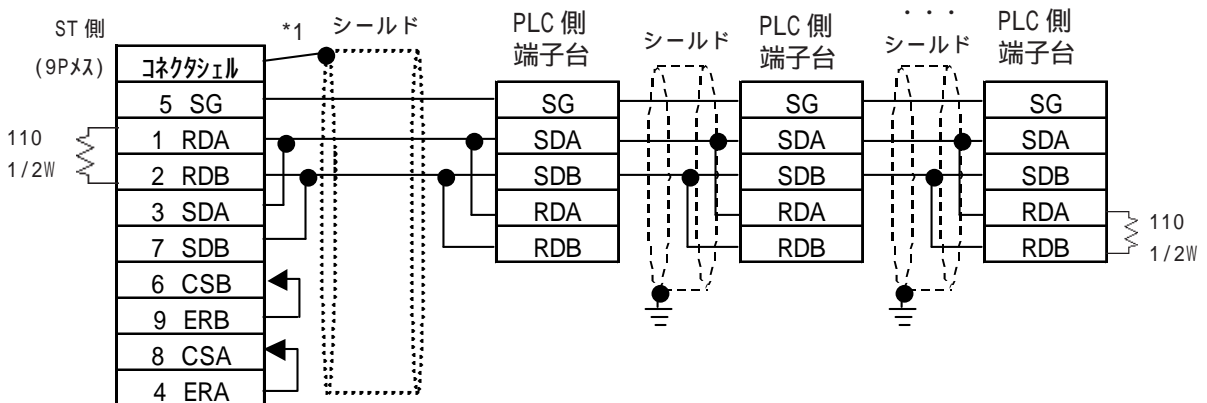


- ・ ケーブルを加工する場合



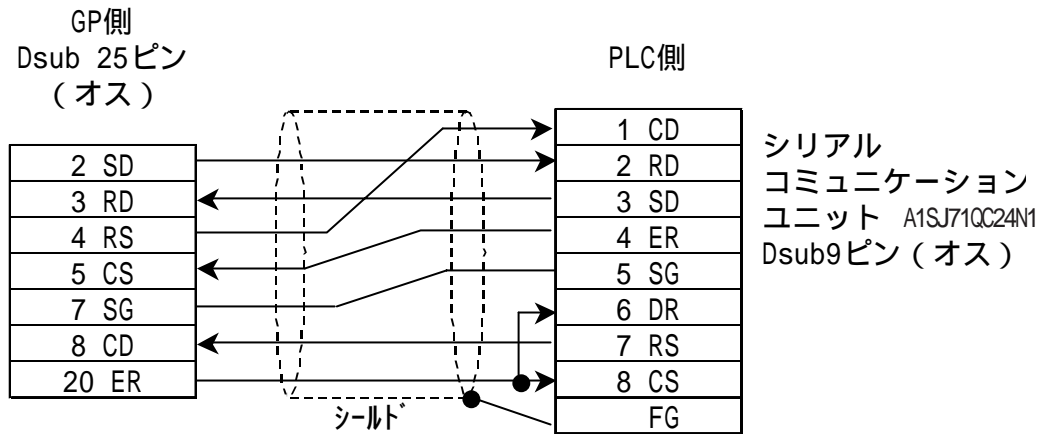
## ST400/ST403の場合

- ・ ケーブルを加工する場合



\*1 シールドをコネクタシールドに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS422 インターフェースを使用する場合（ST400/ST403）」の**重要**の内容を参照してください。

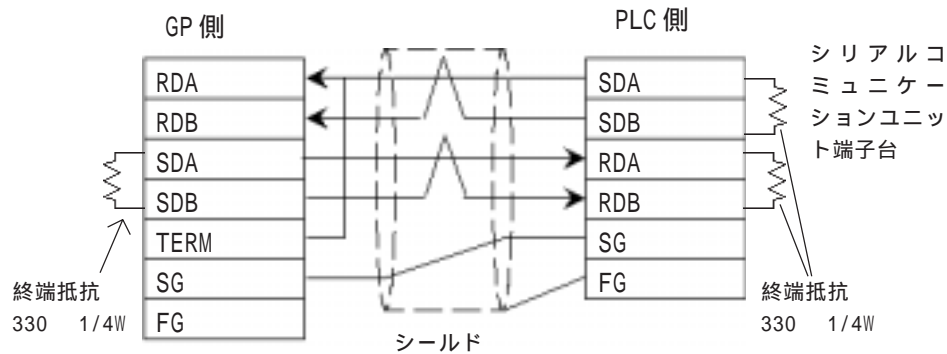
< 結線図 15 >



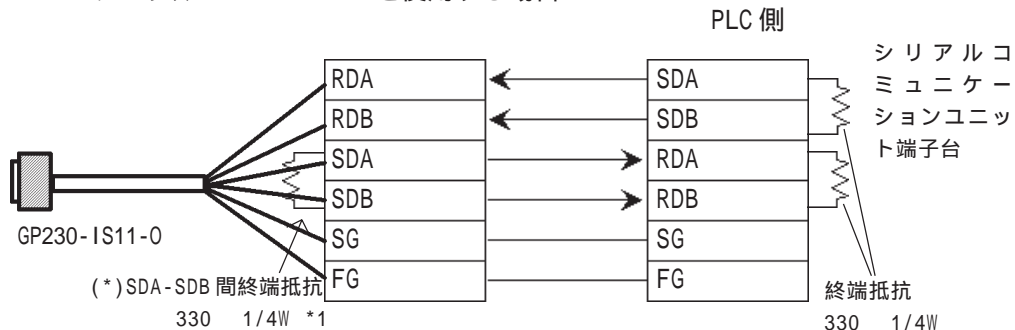
強制・ シールド線は、PLC側の端子台のFGに接続してください。

< 結線図 16 >

・ RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合

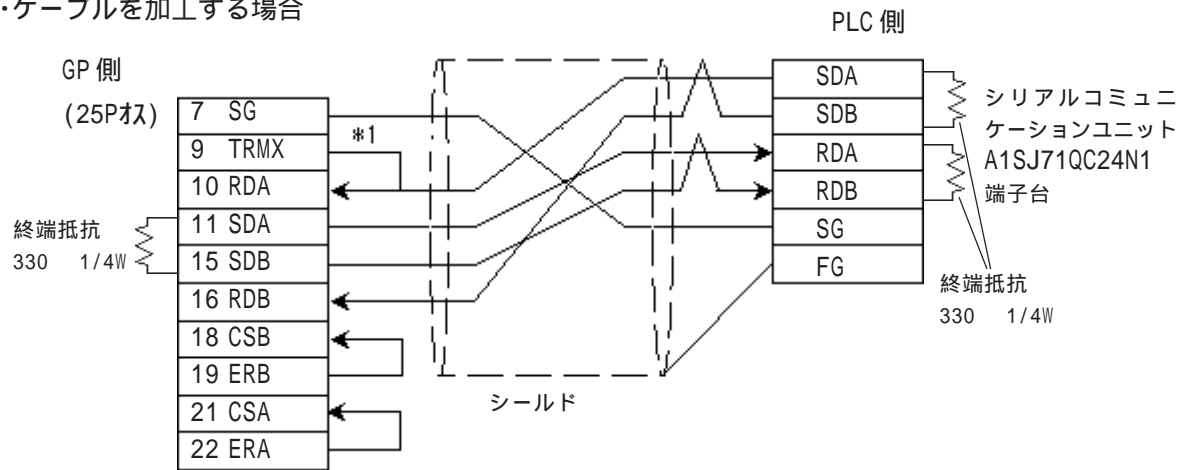


・ RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



\*1 ケーブルを延長する場合は、SDA-SDB間に終端抵抗をつけてください。

## ・ケーブルを加工する場合



\*1 シリアル I/F の 9 番ピンと 10 番を短絡することで RDA-RDB 間に 100 Ω の終端抵抗が挿入されます。



## 2.1.3 使用可能デバイス

GPでサポートしているデバイスの範囲を示します。

MELSEC-A シリーズ（AnA/AnU/A2US/A2USH-S1） は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X1FFF	X0000 ~ X1FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
出力リレー	Y0000 ~ Y1FFF	Y0000 ~ Y1FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
内部リレー	M0000 ~ M8191	M0000 ~ M8176	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
保持リレー	L0000 ~ L8191	L0000 ~ L8176	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
特殊リレー	M9000 ~ M9255	M9000 ~ M9240	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
アナンシェータ	F0000 ~ F2047	F0000 ~ F2032	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
リンクリレー	B0000 ~ B1FFF	—————	
タイマ（接点）	TS0000 ~ TS2047	—————	
タイマ（コイル）	TC0000 ~ TC2047	—————	
カウンタ（接点）	CS0000 ~ CS1023	—————	
カウンタ（コイル）	CC0000 ~ CC1023	—————	
タイマ（現在値）	—————	TN0000 ~ TN2047	
カウンタ（現在値）	—————	CN0000 ~ CN1023	
データレジスタ	—————	D0000 ~ D8191	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span>
特殊レジスタ	—————	D9000 ~ D9255	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span>
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W1FFF	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">BitF</span>
ファイルレジスタ	—————	R0000 ~ R8191	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span> *1

L/H

\*1 AnA、AnUでファイルレジスタを使用する場合は、下記のメモリカセット内のユーザメモリエリアをご使用ください。


- ・ A3NMCA-0 ・ A3NMCA-2 ・ A3NMCA-4 ・ A3NMCA-8 ・ A3NMCA-16 ・ A3NMCA-24
- ・ A3NMCA-40 ・ A3MCA-56
- ・ A4UMCA-8E（CPU直結使用時のみ接続確認しています）

メモリカセット使用なしの場合にファイルレジスタを設定すると、通信時にエラーが発生します。



注意・直結をご使用される際に、ラダープログラムをROM化された場合は、ファイルレジスタが使用できない場合があります。ご注意ください。

## MELSEC-N シリーズ（AnN/A2C/A1S/A3H/A0J2/A1SJ/A2SH/A1SH/A2CJ-S3）

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X07FF	X0000 ~ X07F0	 *1
出力リレー	Y0000 ~ Y07FF	Y0000 ~ Y07F0	 *1
内部リレー	M0000 ~ M2047	M0000 ~ M2032	 *2
保持リレー	L0000 ~ L2047	—————	
特殊リレー	M9000 ~ M9255	M9000 ~ M9240	 *2
アナンシェータ	F000 ~ F255	F000 ~ F240	 *2
リンクリレー	B0000 ~ B03FF	—————	
タイマ（接点）	TS000 ~ TS255	—————	
タイマ（コイル）	TC000 ~ TC255	—————	
カウンタ（接点）	CS000 ~ CS255	—————	
カウンタ（コイル）	CC000 ~ CC255	—————	
タイマ（現在値）	—————	TN000 ~ TN255	
カウンタ（現在値）	—————	CN000 ~ CN255	
データレジスタ	—————	D0000 ~ D1023	 *3
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W03FF	 *3
ファイルレジスタ	—————	R0000 ~ R8191	 *3

\*1 A2C 使用の場合、出力リレー Y01F0 ~ Y01FF（ワードは Y01F0）は PLC 側で使用のため設定できません。

\*2 AnN と AJ71C24-S3（または AJ71C24）の組み合わせでは使用できません。

\*3 AnN、A3H でファイルレジスタを使用する場合は、下記のメモリカセット内のユーザメモリエリアをご使用ください。

・ A3NMCA-0 ・ A3NMCA-2 ・ A3NMCA-4 ・ A3NMCA-8 ・ A3NMCA-16 ・ A3NMCA-24

・ A3NMCA-40 ・ A3MCA-56

・ A4UMCA-8E（CPU 直結使用時のみ接続確認しています）

メモリカセット使用なしの場合にファイルレジスタを設定すると、通信時にエラーが発生します。



注意 ・ 直結をご使用される際に、ラダープログラムを ROM 化された場合は、ファイルレジスタが使用できない場合があります。ご注意ください。

MELSEC-F<sub>2</sub> シリーズ(リンク I/F を使用する場合)

  は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー(X)	000 ~ 013, 400 ~ 413, 500 ~ 513	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
出力リレー(Y)	030 ~ 037, 430 ~ 437, 530 ~ 537	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
タイマ(接点)(T)	050 ~ 057, 450 ~ 457, 550 ~ 557, 650 ~ 657	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
カウンタ(接点)(C)	060 ~ 067, 460 ~ 467, 560 ~ 567, 660 ~ 667	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
補助リレー(W)	070 ~ 077, 100 ~ 177, 200 ~ 277, 470 ~ 477, 570 ~ 577	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
キーブリレー(M)	300 ~ 377	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
ステート(S)	800 ~ 877, 900 ~ 977, 600 ~ 647	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
タイマ(現在値)	—————	TC050 ~ TC057 TC450 ~ TC457 TC550 ~ TC557 TC650 ~ TC657	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
タイマ(設定値)	—————	TS050 ~ TS057 TS450 ~ TS457 TS550 ~ TS557 TS650 ~ TS657	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
カウンタ(現在値)	—————	CC060 ~ CC067 CC460 ~ CC467 CC560 ~ CC567 CC660 ~ CC667	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
カウンタ(設定値)	—————	CS060 ~ CS067 CS460 ~ CS467 CS560 ~ CS567 CS660 ~ CS667	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
データレジスタ	—————	DW700 ~ DW777	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>



F2シリーズのタイマ・カウンタ・データレジスタは1アドレス12ビット長のため、一部のタグ(ex. Nタグ、Sタグ、Cタグなど)では使用上制限が生じますので、ご注意ください。

禁止・ 2ワード(32ビットデータ)を使用することはできません。

MELSEC-FXシリーズ(FX<sub>0</sub>をCPU直結で三菱電機MELSEC-FX(CPU)プロトコルで使用する場合)

     は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X000 ~ X017	X000	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
出力リレー	Y000 ~ Y015	Y000	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span>
補助リレー	M000 ~ M511	M000 ~ M496	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span>
ステート	S000 ~ S063	S000 ~ S048	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span>
タイマ（接点）	TS000 ~ TS055	—————	
カウンタ（接点）	CS000 ~ CS015	—————	
タイマ（現在値）	—————	TN000 ~ TN055	
カウンタ（現在値）	—————	CN000 ~ CN015	
データレジスタ	—————	D000 ~ D031	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>

MELSEC-FXシリーズ(三菱電機MELSEC-FX2(LINK)プロトコルで使用する場合)

     は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X0377	X0000 ~ X0360	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8 *** 0</span>
出力リレー	Y0000 ~ Y0377	Y0000 ~ Y0360	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8 *** 0</span>
補助リレー	M0000 ~ M7679	M0000 ~ M7664	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span>
ステート	S0000 ~ S4095	S0000 ~ S4080	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span>
特殊補助リレー	M8000 ~ M8511	M8000 ~ M8496	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span> *1
タイマ（接点）	TS000 ~ TS511	—————	
カウンタ（接点）	CS000 ~ CS255	—————	
タイマ（現在値）	—————	TN000 ~ TN511	
カウンタ（現在値）	—————	CN000 ~ CN255	*2
データレジスタ	—————	D0000 ~ D7999	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>
特殊データレジスタ	—————	D8000 ~ D8511	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span> *1 *3
拡張レジスタ	—————	R00000 ~ R32767	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span> *4 *3

\*1 特殊補助リレーおよび特殊データレジスタは、読み出し専用、書き込み専用、システム用に分かれています。

詳細は、PLC本体のマニュアルを参照してください。

\*2 CN200 ~ CN255は、32ビット長カウンタです。

\*3 データレジスタのアドレスの指定は、特殊レジスタにまったくような設定をしないでください。  
例えば、D7999より2ワード以上の書き込みなど。2ワード以上の書き込みを行った場合は、上位通信エラー(02:FA)のエラーが表示されます。

\*4 FX3UC、FX3Uのみ対応です。

MELSEC-FXシリーズ<sup>\*</sup>（三菱電機 MELSEC-FX(CPU) プロトコルまたは三菱電機 MELSEC-FX(CPU2) プロトコルを使用する場合）

     は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X0377	X0000 ~ X0360	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*** 0</span> *2
出力リレー	Y0000 ~ Y0377	Y0000 ~ Y0360	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">OCT 8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*** 0</span>
補助リレー	M0000 ~ M7679	M0000 ~ M7664	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span>
特殊補助リレー	M8000 ~ M8511	M8000 ~ M8496	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span> *3
ステート	S0000 ~ S4095	S0000 ~ S4080	
タイマ（接点）	TS000 ~ TS511	_____	
カウンタ（接点）	CS000 ~ CS255	_____	
タイマ（現在値）	_____	TN000 ~ TN511	
カウンタ（現在値）	_____	CN000 ~ CN255	*1
データレジスタ	_____	D000 ~ D7999	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span> *4 *5
特殊データレジスタ	_____	D8000 ~ D8511	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span> *3
拡張レジスタ	_____	R00000 ~ R32767	*6

L/H

\*1 CN200 ~ CN255 は 32 ビット長カウンタです。

\*2 データの書き込みはできません。

\*3 特殊補助リレーおよび特殊データレジスタは、読み出し専用、書込み専用、システム用に分かれています。詳細は PLC のマニュアルを参照してください。


\*4 データレジスタのアドレスの指定は特殊レジスタにまたぐような設定をしないでください。例えば、D7999 より 2 ワード以上の書き込みを行わないでください。D7999 より、2 ワード以上の書き込みを行う場合、上位通信エラー (02:FA) のエラーが表示されます。

\*5 FX<sub>1S</sub> シリーズと FX<sub>ON</sub> シリーズの D1000 ~ D2499 はファイルレジスタです。ファイルレジスタは、ラダーソフトでファイル容量を設定することによりアクセス可能となります。設定していない場合は、上位通信エラー (02:FA) のエラーが出ます。また、GP と PLC が通信している途中で PLC のファイル容量の設定を変更した場合は、GP の電源を ON/OFF するか画面を切替えない限り、画面上に設定されたファイルレジスタのアドレスは変更前のメモリにアクセスしますのでご注意ください。

\*6 FX3UC、FX3U のみ対応します。

**重要** ・ A1FX のデバイス範囲は、MELSEC-N シリーズを参照してください。

## MELSEC-FXシリーズ（三菱電機 MeIsec-FX 1:n 通信プロトコルを使用する場合）

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X0000 ~ X0377	X0000 ~ X0360	 	
出力リレー	Y0000 ~ Y0377	Y0000 ~ Y0360	 	
補助リレー	M0000 ~ M7679	M0000 ~ M7664		
特殊補助リレー	M8000 ~ M8511	M8000 ~ M8496	 *3	
ステート	S0000 ~ S4095	S0000 ~ S4080		
タイマ（接点）	TS000 ~ TS511	—————	L/H	
カウンタ（接点）	CS000 ~ CS255	—————		
タイマ（現在値）	—————	TN000 ~ TN511		
カウンタ（現在値）	—————	CN000 ~ CN255		*1
データレジスタ	—————	D000 ~ D7999		 *3
特殊データレジスタ	—————	D8000 ~ D8511	 *2	
拡張レジスタ	—————	R00000 ~ R32767	 *4*5	

\*1 CN200 ~ CN255 は、32 ビット長のカウンタです。

\*2 特殊レジスタ及び特殊データレジスタは、読み出し専用、書き込み専用、システム用に分かれています。詳細は、PLC 本体のマニュアルを参照してください。

\*3 データレジスタのアドレスの指定は、特殊レジスタにまたくような指定をしないでください。例えば、D7999 より 2 ワード以上の書き込みなど。2 ワード以上の書き込みを行った場合は、上位通信エラー (02:FA) のエラーが表示されます。

\*4 FX3UC、FX3U のみ対応です。

\*5 (三菱電機 MELSEC-FX 1:N 通信プロトコルの場合のみ)

GP で内部的に 8192 ワード毎に分割して処理されます。そのため、各ブロックをまたいで、以下の機能を使用することはできませんのでご注意ください。ご使用の際は各ブロック内に収まるように設定してください。

- 1) a タグの設定
- 2) 2Way 機能による一括読み出し / 書きこみ

例) ProServer にて R8191" から 20 ワード分の一括読み出しはできません。

MELSEC-QnA(計算機リンクユニットAJ71QC24/A1SJ71QC24/A1SJ71QC24N/AJ71QC24N-R4/AJ71QC24N/A1SJ71QC24N1 使用の場合、CPU 直結の場合)

□ は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X1FFF	X0000 ~ X1FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span> L/H
出力リレー	Y0000 ~ Y1FFF	Y0000 ~ Y1FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
内部リレー	M00000 ~ M32767	M00000 ~ M32752	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
特殊リレー	SM0000 ~ SM2047	SM0000 ~ SM2032	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
ラッチリレー	L00000 ~ L32767	L00000 ~ L32752	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
アナンシェータ	F00000 ~ F32767	F00000 ~ F32752	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
エッジリレー	V00000 ~ V32767	V00000 ~ V32752	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
ステップリレー	S0000 ~ S8191	S0000 ~ S8176	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
リンクリレー	B0000 ~ B7FFF	B0000 ~ B7FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
特殊リンクリレー	SB000 ~ SB7FF	SB000 ~ SB7F0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
タイマ（接点）	TS00000 ~ TS23087	_____	
タイマ（コイル）	TC00000 ~ TC23087	_____	
積算タイマ（接点）	SS00000 ~ SS23087	_____	
積算タイマ（コイル）	SC00000 ~ SC23087	_____	
カウンタ（接点）	CS00000 ~ CS23087	_____	
カウンタ（コイル）	CC00000 ~ CC23087	_____	
タイマ（現在値）	_____	TN00000 ~ TN23087	
積算タイマ（現在値）	_____	SN00000 ~ SN23087	
カウンタ（現在値）	_____	CN00000 ~ CN23087	
データレジスタ	_____	D00000 ~ D25983	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>
特殊レジスタ	_____	SD0000 ~ SD2047	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>
リンクレジスタ	_____	W0000 ~ W657F	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit F</span>
特殊リンクレジスタ	_____	SW000 ~ SW7FF	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit F</span>
ファイルレジスタ（通常）		R00000 ~ R32767	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span> *1
ファイルレジスタ（連番）	_____	OR0000 ~ OR7FFF (ZR0000 ~ ZR32767) : 1R0000 ~ 1R7FFF (ZR32768 ~ ZR65535)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit F</span> *1

\*1 ファイルレジスタを使用する場合は、メモリカードが必要です。  
メモリカードの容量により、ファイルレジスタの使用可能容量が異なります。



・ 各デバイスの範囲は、パラメータ設定により最大に設定した場合の範囲です。また、使用できるデバイスの種類、範囲はご使用のCPUによって異なる場合があります。ご使用になられる前に、各CPUのマニュアルでご確認ください。

MELSEC-QnA(計算機リンクユニットAJ71UC24/A1SJ71UC24/A1SJ71UC24-R2/A1SJ71UC24-R4使用の場合)      は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X0000 ~ X03FF	X0000 ~ X03F0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>	
出力リレー	Y0000 ~ Y03FF	Y0000 ~ Y03F0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>	
内部リレー	M00000 ~ M8191	M00000 ~ M8176	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>	
特殊リレー	SM1000 ~ SM1255	SM1000 ~ SM1240	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span> *1	
アナンシェータ	F0000 ~ F2047	F0000 ~ F2032	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>	
リンクリレー	B0000 ~ B0FFF	—————	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>	
タイマ（接点）	TS0000 ~ TS2047	—————	L/H	
タイマ（コイル）	TC0000 ~ TC2047	—————		
カウンタ（接点）	CS0000 ~ CS1023	—————		
カウンタ（コイル）	CC0000 ~ CC1023	—————		
タイマ（現在値）	—————	TN0000 ~ TN2047		
カウンタ（現在値）	—————	CN0000 ~ CN1023		
データレジスタ	—————	D0000 ~ D6143		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span>
特殊レジスタ	—————	SD1000 ~ SD1255		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span> *1
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W0FFF		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">BitF</span>

\*1 GP-PRO/PB と PLC 側で表記が異なります。

デバイス	GP-PRO/PB	PLC
特殊リレー	M9000 ~ M9255	SM1000 ~ SM1255 (SM0000 ~ SM0999は使用不可)
特殊レジスタ	D9000 ~ D9255	SD1000 ~ SD1255 (SD0000 ~ SD0999は使用不可)

通信モード設定について < MELSEC-QnA シリーズ(リンクユニット使用の場合) >  
MELSEC-QnA シリーズをご使用される場合において GP のオフラインモードで  
初期設定時に「モード2」と「モード1」の設定が可能です。

GP-PRO/PB for Windows ではこの設定はできませんのでご注意ください。

- ・「モード2」・新しく追加された通信方式です。このモードは、1画面に設定するタグのデバイスが64個未満の場合に有効です。通信速度を向上される効果があります。ご使用されるデバイスが少ない場合に設定してください。
- ・「モード1」・従来と同等の通信方式です。このモードは、1画面に設定するタグのデバイスが64個以上の場合に有効です。通信速度が向上される効果があります。ご使用されるデバイスが多い場合に設定してください。

- 重要**
- ・ GP 内部画面記憶エリアを初期化した場合また、作画ソフトより画面を転送した場合は初期設定である「モード1」に戻ります。「モード2」設定される場合はオフラインにて設定しなおしてください。
  - ・ 「モード2」設定はご使用になるタグやシステムエリアや読み込みエリアの割付で必ずしも速度の向上が得られない場合があります。



MELSEC-Q シリーズ（Aモード、CPU直結の場合）


     は、システムエリアに指定可能



















デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X1FFF	X0000 ~ X1FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
出力リレー	Y0000 ~ Y1FFF	Y0000 ~ Y1FF0	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">***0</span>
内部リレー	M0000 ~ M8191	M0000 ~ M8176	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
保持リレー	L0000 ~ L8191	L0000 ~ L8176	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
特殊リレー	M9000 ~ M9255	M9000 ~ M9240	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
アナンシェータ	F0000 ~ F2047	F0000 ~ F2032	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷16</span>
リンクリレー	B0000 ~ B1FFF	—————	
タイマ（接点）	TS0000 ~ TS2047	—————	
タイマ（コイル）	TC0000 ~ TC2047	—————	
カウンタ（接点）	CS0000 ~ CS1023	—————	
カウンタ（コイル）	CC0000 ~ CC1023	—————	
タイマ（現在値）	—————	TN0000 ~ TN2047	
カウンタ（現在値）	—————	CN0000 ~ CN1023	
データレジスタ	—————	D0000 ~ D8191	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span>
特殊レジスタ	—————	D9000 ~ D9255	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span>
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W1FFF	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">BitF</span>
ファイルレジスタ	—————	R0000 ~ R8191	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit15</span> *1

L/H

\*1 ファイルレジスタを使用する場合は、CPUに内蔵している標準ROM/RAMの容量、もしくはメモリカードの容量により、ファイルレジスタの使用可能容量が異なります。

## MELSEC-Qシリーズ（Qモード、リンク I/F 使用、CPU 直結の場合）

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X0000 ~ X1FFF	X0000 ~ X1FF0		L/H
出力リレー	Y0000 ~ Y1FFF	Y0000 ~ Y1FF0		
内部リレー	M0000 ~ M32767	M0000 ~ M32752		
特殊リレー	SM0000 ~ SM2047	SM0000 ~ SM2032		
ラッチリレー	L0000 ~ L32767	L0000 ~ L32752		
アナンシェータ	F0000 ~ F32767	F0000 ~ F32752		
エッジリレー	V0000 ~ V32767	V0000 ~ V32752		
ステップリレー	S0000 ~ S8191	S0000 ~ S8176		
リンクリレー	B0000 ~ B7FFF	B0000 ~ B7FF0		
特殊リンクリレー	SB000 ~ SB7FF	SB000 ~ SB7F0		
タイマ（接点）	TS00000 ~ TS23087	—————		
タイマ（コイル）	TC00000 ~ TC23087	—————		
積算タイマ（接点）	SS00000 ~ SS23087	—————		
積算タイマ（コイル）	SC00000 ~ SC23087	—————		
カウンタ（接点）	CS00000 ~ CS23087	—————		
カウンタ（コイル）	CC00000 ~ CC23087	—————		
タイマ（現在値）	—————	TN00000 ~ TN23087		
積算タイマ（現在値）	—————	SN00000 ~ SN23087		
カウンタ（現在値）	—————	CN00000 ~ CN23087		
データレジスタ	—————	<b>D00000 ~ D25983</b>		
特殊レジスタ	—————	SD0000 ~ SD2047		
リンクレジスタ	—————	W0000 ~ W657F		
特殊リンクレジスタ	—————	SW000 ~ SW7FF		
ファイルレジスタ（通常）	—————	R0000 ~ R32767	 *1	
ファイルレジスタ（連番）	—————	OR0000 ~ OR7FFF (ZR0000 ~ ZR32767)	 *1	
	—————	1R0000 ~ 1R7FFF (ZR32768 ~ ZR65535)	 *1	
	:	:	:	
	—————	31R0000 ~ 31R67FF (ZR1015808 ~ ZR1042431)	 *1	

\*1 ファイルレジスタを使用する場合は、CPU に内蔵している標準 ROM/RAM の容量、もしくはメモ리카ードの容量により、ファイルレジスタの使用可能容量が異なります。



・ 各デバイスの範囲は、パラメータ設定により最大に設定した場合の範囲です。また、使用できるデバイスの種類、範囲はご使用の CPU によって異なる場合があります。ご使用になられる前に、各 CPU のマニュアルでご確認ください。

## 2.1.4 環境設定例

（株）デジタルが推奨する PLC 側の通信設定と、それに対応する GP 側の通信設定を示します。



PLC プログラムのサイクルタイムに与える影響 CPU 直結の場合、GP との通信が始まると、PLC プログラムのサイクルタイムが約 8% 程遅くなります。ご確認の上ご使用ください。

### MELSEC-A シリーズ /N シリーズ（計算機リンクユニット使用の場合）

GPの設定		計算機リンクユニットの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	7bit	データビット	7bit
ストップビット	2bit	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティの有無 偶数/奇数パリティ	有 偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	チャンネル設定 <sup>*1</sup> モード設定 (RS-232C使用時)	RS-232C 4 (形式4のプロトコ ルモード)
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	チャンネル設定 <sup>*1</sup> モード設定 (RS-422使用時)	RS-422 8 (形式4のプロトコ ルモード)
_____		RUN中書き込み可否	可能
_____		サムチェックの有無	有
_____		送信側終端抵抗有無 <sup>*2</sup>	有
_____		受信側終端抵抗有無 <sup>*2</sup>	有
号機No.	0	局番	0

### MELSEC-A シリーズ /N シリーズ（CPU 直結の場合）

GPの設定		PLC側の設定	
伝送速度	9600bps (固定)	_____	
データ長	8bit (固定)	_____	
ストップビット	1bit (固定)	_____	
パリティビット	奇数 (固定)	_____	
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時) <sup>*3</sup>	RS-232C	_____	
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	_____	
号機No.	0 (固定)	_____	

\*1 A1SJ71C24-R2、A1SJ71UC24-R2、A1SJ71C24-R4 には、この設定はありません。

\*2 AJ71UC24 には、この設定はありません。

\*3 (株) デジタル製 A シリーズ用プロコン I/F ケーブル GP430-IP10-0、またはダイヤトレンド (株) 製 DAFXIH-CABV を使用する場合を指します。それ以外は 4 線式です。

## MELSEC-A2C

GPの設定		MELSEC-A2Cの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティの有無 偶数/奇数パリティ	有 偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	チャンネル設定 モード設定	RS-232C 4（形式4のプロトコ ルモード）
_____		RUN中書き込み可否	可能
_____		サムチェックの有無	有
号機No.	0	局番	0

MELSEC-F<sub>2</sub> シリーズ

GPの設定		インターフェイスユニットの設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	7bit	データビット	7bit
ストップビット	1bit（固定）	ストップビット	1bit（固定）
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		終端文字指定	有
_____		サムチェックの有無	有
号機No.	0	局番	0

MELSEC-FX シリーズ(三菱電機 MELSEC-FX2(LINK)プロトコルで使用する場合)  
(FX3UC、FX3U 以外の場合)

GPの設定		PLC側(データレジスタ)の設定	
伝送速度	19200	ボーレート	19200
データ長	7	データ長	7
ストップビット	2	ストップ	2
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	E R	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS232C	計算機リンク	RS232C I/F
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	計算機リンク	RS485(RS422) I/F
号機No.	0	局番 <sup>*1</sup>	0
_____		サムチェック	付加する
_____		プロトコル	使用する
_____		制御手順	形式4
_____		ヘッダ	なし
_____		ターミネータ	なし

\*1 PLCの局番設定は00h ~ 0Fhまで設定できますが、GPシリーズでは0 ~ 15をご使用ください。

PLCの設定はラダーソフトのPCシステム設定で行う方法と、データレジスタD8121及びD8120に書き込みする方法があります。詳細は、三菱電機「FX通信ユーザズマニュアル」を参照してください。



- ・ FX0N および FX1S、FX1N、FX1NC シリーズと GP シリーズを接続する場合は[送信ウエイト]に PLC のスキャンタイムの 2 倍以上の値を設定してください。

MELSEC-FX シリーズ(三菱電機 MELSEC-FX2(LINK) プロトコルで使用する場合)  
(FX3UC、FX3U の場合)

GPの設定		PLC側(データレジスタ)の設定	
伝送速度	19200	ボーレート	19200
データ長	7	データ長	7
ストップビット	2	ストップ	2
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER		ER
通信方式 (RS-232C使用時)	RS232C	H/Wタイプ	RS232C I/F
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	H/Wタイプ	RS485(RS422) I/F <sup>*1</sup>
号機No.	0	局番設定 <sup>*2</sup>	00h
_____		CH	CH1
_____		プロトコル	使用する
_____		伝送制御手順	形式4
_____		サムチェック	付加する
_____		通信設定をする	チェック有り
_____		ヘッダ	なし
_____		ターミネータ	なし

\*1 4線式で接続する場合と、2線式で接続する場合で終端抵抗が異なります。

終端抵抗は機能拡張ボード FX3U-485-BD に内蔵されています。

4線式の場合は330 にディップスイッチを切り替えてください。

\*2 PLCの局番設定は00h ~ 0Fhまで設定できますが、GPシリーズでは0 ~ 15をご使用ください。

PLCの設定はラダーソフトのPCシステム設定で行う方法と、データレジスタ D8121 及び D8120 に書き込みする方法があります。詳細は、三菱電機「FX通信ユーザズマニュアル」を参照してください。

MELSEC-FX シリーズ\*1(三菱電機 MELSEC-FX(CPU)プロトコルまたは、三菱電機 MELSEC-FX(CPU2)プロトコルを使用する場合)

GPの設定		PLC側の設定
伝送速度*2	9600bps	———
データ長	7bit (固定)	———
ストップビット	1bit (固定)	———
パリティビット	偶数 (固定)	———
制御方式	ER制御	———
通信方式 (三菱電機MELSEC-FX(CPU)プロトコルを使用する場合)	RS-232C	———
通信方式 (三菱電機MELSEC-FX(CPU2)プロトコルを使用する場合)	4線式	———
号機No.	0 (固定)	———

\*1 A1FXを使用する場合は、MELSEC-Nシリーズ(CPU直結)の設定と同じです。



注意

- ・ 上記直結プロトコルで機能拡張ボードを使用する場合は、D8120 にデータ "0" を格納しご使用ください。また、FX3UC、FX3Uの場合は、M8070、M8071 を OFF にしてください。

\*2 MELSEC-FX(CPU2)プロトコルのバージョンがV1.43未満の場合は9600 bps固定です。プロトコルのバージョンはオフラインモードのメインメニューで確認できます。

MELSEC-FXシリーズ(三菱電機MELSEC-FX 1:N通信プロトコルを使用する場合)  
(FX3UC、FX3U以外の場合)

GPの設定		PLC側の設定	
通信速度(bps)	19200	ボーレート	19200
データ長	7	データ長	7
ストップビット	2	ストップビット	2
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER	———	
通信方式	4線式または2線式	H/Wタイプ*1	RS-485
号機No.	0	局番*2	0
———		通信設定をする	チェック有り
———		サムチェック	付加する
———		プロトコル	専用プロトコル通信
———		制御手順	形式4
———		ヘッダ	なし
———		ターミネータ	なし

\*1 PLCの局番は、00H ~ 0FHまで設定できますが、GPシリーズでは0 ~ 7をご使用ください。



- ・ PLCの設定はラダーソフトのPCシステム設定で行う方法と、データレジスタD8121及びD8120に書き込みする方法があります。詳細は、三菱電機「FX通信ユーザズマニュアル」を参照してください。

MELSEC-FXシリーズ(三菱電機MELSEC-FX 1:N通信プロトコルを使用する場合)  
(FX3UC、FX3Uの場合)

GPの設定		PLC側(データレジスタ)の設定	
伝送速度	19200	ボーレート	19200
データ長	7	データ長	7
ストップビット	2	ストップ	2
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER	—————	ER
通信方式	4線式または2線式	H/Wタイプ <sup>*1</sup>	RS-485
号機No.	0	局番設定 <sup>*2</sup>	00h
—————		CH	CH1
—————		プロトコル	専用プロトコル通信
—————		伝送制御手順	形式4
—————		サムチェック	付加する
—————		通信設定をする	チェック有り
—————		ヘッダ	なし
—————		ターミネータ	なし

\*1 4線式で接続する場合と、2線式で接続する場合で終端抵抗が異なります。

終端抵抗は機能拡張ボードFX3U-485-BD、FX3U-485ADPに内蔵されています。

4線式の場合は330 にディップスイッチを切り替えてください。

\*2 PLCの局番設定は00h～0Fhまで設定できますが、GPシリーズでは0～7をご使用ください。



- ・ PLCの設定はラダーソフトのPCシステム設定で行う方法と、データレジスタD8121及びD8120に書き込みする方法があります。詳細は、三菱電機「FX通信ユーザズマニュアル」を参照してください。



## MELSEC-QnA（シリアルコミュニケーションユニット使用の場合）

GPの設定 *1		シリアルコミュニケーションユニットの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	7bit	データビット	7bit
ストップビット	2bit	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティの有無 偶数/奇数パリティ	有 偶数
制御方式	ER制御		
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	モード設定 (RS-232C使用時)	4(形式4のプロトコルモード)
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	モード設定 (RS-422使用時)	4(形式4のプロトコルモード)
		サムチェックの有無	有
		送信側終端抵抗有無	有
		受信側終端抵抗有無	有
号機No.	0	局番	0

\*1 AJ71QC24N-R4/A1SJ71QC24N/AJ71QC24N は伝送速度 115200bps も可能です。



- ・ MELSEC-QnAと計算機リンクユニットAJ71UC24の組み合わせで使用する場合の環境設定は、「MELSEC Aシリーズ」の表をご参照ください。
- ・ シリアルコミュニケーションユニットのCH1、CH2は、以下の条件の1つでも条件を満たした場合は、同時通信を行うことができます。  
条件1: コミュニケーションユニット上面のシールのバージョンがAB以降  
条件2: コミュニケーションユニット側面のDATEが9609以降  
条件3: コミュニケーションユニットROMバージョンが7179M以降

## MELSEC-QnA（シリアルコミュニケーションユニットA1SJ71QC24N1使用の場合）

GPの設定		シリアルコミュニケーションユニットの設定 *1	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	7bit	データビット	7bit
ストップビット	2bit	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティの有無 偶数/奇数パリティ	あり 偶数
制御方式	ER制御		
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C		
通信方式 (RS-422使用時)	4線式		
		サムチェックコード	あり
号機No.	0	局番	0
		設定変更	許可
		RUN中書込み	許可
		動作設定	独立
		交信プロトコル設定	MCプロトコル(形式4)

\*1 設定は三菱電機(株)製、GPP機能ソフトウェアより行います。

## MELSEC-QnA (CPU 直結の場合)

GPの設定		PLC側の設定
伝送速度	19200bps (固定)	_____
データ長	8bit (固定)	_____
ストップビット	1bit (固定)	_____
パリティビット	奇数 (固定)	_____
制御方式	ER制御	_____
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	_____
号機No.	0 (固定)	_____

\*1 (株) デジタル製 A シリーズ用プロコン I/F ケーブル GP430-IP10-0、またはダイヤトレンド (株) 製 DAFX1H-CABV を使用する場合を指します。それ以外は 4 線式です。

## MELSEC-Q シリーズ (A モード CPU 直結の場合)

GPの設定		PLC側の設定
伝送速度	9600bps (固定)	_____
データ長	8bit (固定)	_____
ストップビット	1bit (固定)	_____
パリティビット	奇数 (固定)	_____
制御方式	ER制御	_____
通信方式	RS-232C	_____
号機No.	0 (固定)	_____

MELSEC-Q シリーズ (Q モード CPU 直結)

GPの設定		PLC側の設定 <sup>*1</sup>	
伝送速度	19200bps	_____	
データ長	8bit (固定)	_____	
ストップビット	1bit (固定)	_____	
パリティビット	奇数 (固定)	_____	
制御方式	ER制御 (固定)	_____	
通信方式	RS-232C (固定)	_____	
号機No.	0 (固定)	_____	
_____		シリアルコミュニケーション機能	使用しない

\*1 Q00CPU および Q01CPU のみ設定があります。設定は三菱電機(株)製、GPP 機能ソフトウェアより行います。



- ・ 伝送速度は 9600bps ~ 115200bps まで使用できます。ただし、GP70 シリーズ (GP-377 シリーズを除く) をご使用の場合は 38400bps までです。

MELSEC-Q シリーズ (CPU 直結で三菱電機 MELSEC-QnA(LINK) プロトコルを使用する場合<sup>\*1</sup>)

GPの設定		PLC側の設定 <sup>*1</sup>	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit (固定)	_____	
ストップビット	1bit (固定)	_____	
パリティビット	奇数 (固定)	_____	
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		RUN中書込設定	許可する
_____		サムチェック	あり
号機No.	0	_____	
_____		シリアルコミュニケーション機能	使用する

\*1 Q00CPU および Q01CPU のみ設定があります。設定は三菱電機(株)製、GPP 機能ソフトウェアより行います。

## MELSEC-Qシリーズ (AモードCPU 計算機リンクユニット使用の場合)

GPの設定		計算機リンクユニットの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	7bit	データ長	7bit
ストップビット	2bit	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティの有無 偶数/奇数パリティ	有 偶数
制御方式	ER制御		
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	モード設定 (RS-232C使用時)	RS-232C 4 (形式4の protocols モード)
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	モード設定 (RS-422使用時)	RS-422 8 (形式4の protocols モード)
		RUN書き込み可否	可能
		サムチェックの有無	有
号機No.	0	局番	0

## MELSEC-Qシリーズ (QモードCPU シリアルコミュニケーションユニット使用の場合)

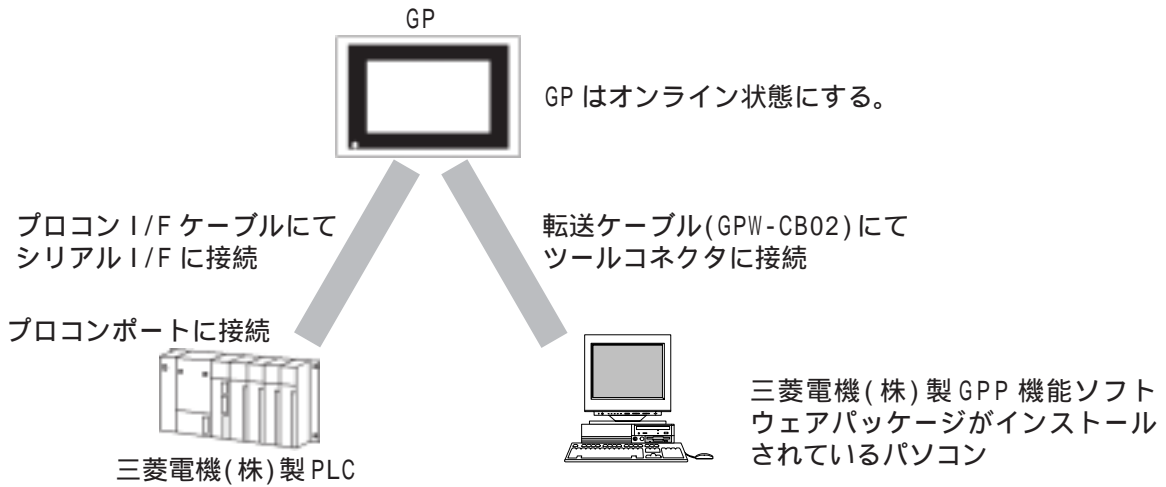
GPの設定		シリアルコミュニケーションユニットの設定 *1	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	7bit	データビット	7bit
ストップビット	2bit	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティの有無 偶数/奇数パリティ	有 偶数
制御方式	ER制御		
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	_____
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	_____	_____
		サムチェックコード	あり
号機No.	0	局番	0
		設定変更	許可
		RUN中書込み	許可
		動作設定	独立
		交信プロトコル設定	MCプロトコル (形式4)

\*1 設定は三菱電機(株)製、GPP機能ソフトウェアより行います。

## 2.1.5 2ポート機能

2ポート機能は2ポート機能を内蔵しているGPを使用する場合と、外付けの2ポートアダプタを使用する場合の二通りがあります。以下にそれぞれ説明いたします。

### 内蔵2ポート機能を使用する場合<sup>\*1</sup>



内蔵2ポート機能対象 PLC

シリーズ名	CPU機種
MELSEC-AnAシリーズ	A2A、A2U-S1、A2USH-S1、A3A、A2US
MELSEC-AnNシリーズ	A1S、A1SH、A2N、A3H、A2SH、A3N、A0J2H
MELSEC-QnAシリーズ	Q2A、Q2A-S1、Q2AS-S1、Q2ASH、Q4A
MELSEC-FXシリーズ <sup>*2</sup>	FX0S、FX0N、FX1S、FX1N、FX2N、FX1NC、FX2NC、FX3UC
MELSEC-Qシリーズ	Q02CPU-A、Q02HCPU-A、Q06HCPU-A、Q02CPU、Q02HCPU、Q06HCPU、Q12HCPU、Q25HCPU、Q00CPU、Q01CPU、Q00JCPU

\*1 デバイスマニタ機能との同時使用も可能です。ただし、STシリーズではデバイスマニタ機能は未対応です。

\*2 MELSEC-FXシリーズのFX2では内蔵2ポート機能は使用できません。

## 内蔵2ポート機能対象 GP

シリーズ		商品名			
GP-377 シリーズ		GP-377L			
		GP-377S			
GP77 シリーズ	GP-37W2 シリーズ	GP-37W2B			
GP77R シリーズ		GP-377R シリーズ	GP-377RT		
		GP-477R シリーズ	GP-477RE		
		GP-577R シリーズ	GP-577RT GP-577RS		
GP2000 シリーズ		GP2000H シリーズ	GP-2301H シリーズ	GP-2301HL GP-2301HS	
		GP-2401H シリーズ	GP-2401HT		
		GP-2300 シリーズ	GP-2300L GP-2300T		
		GP-2301 シリーズ	GP-2301L GP-2301S GP-2301T		
		GP-2400 シリーズ	GP-2400T		
		GP-2401 シリーズ	GP-2401T		
		GP-2500 シリーズ	GP-2500T		
		GP-2501 シリーズ	GP-2501S GP-2501T		
		GP-2600 シリーズ	GP-2600T		
		GP-2601 シリーズ	GP-2601T		
		GLC2000 シリーズ		GLC2300 シリーズ	GLC2300L GLC2300T
				GLC2400 シリーズ	GLC2400T
GLC2500 シリーズ	GLC2500T				
GLC2600 シリーズ	GLC2600T				
ST シリーズ		ST400 シリーズ	ST400 ST401 ST403		

## GPP 機能ソフトウェアパッケージ

MELSEC-Aシリーズ	NEC98シリーズ SW2NX-GPPA形GPP機能ソフトウェアパッケージ以上 DOS/Vシリーズ SW31VD-GPPA形GPP機能ソフトウェアパッケージ以上 Windows95、Windows NT SW0D5*-GPPW形GPP機能ソフトウェアパッケージ以上
MELSEC-QnAシリーズ	NEC98シリーズ SWONX-GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージ DOS/Vシリーズ SW01VD-GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージ Windows95、WindowsNT SW0D5*-GPPW形GPP機能ソフトウェアパッケージ以上
MELSEC-FXシリーズ	Windows95 SW0PC-FXGP/WIN形GPP機能ソフトウェアパッケージ Windows95、WindowsNT SW4D5C-GPPW形GPP機能ソフトウェアパッケージ以上
MELSEC-Qシリーズ	Windows95、WindowsNT SW4D5C-GPPW形GPP機能ソフトウェアパッケージ以上

## 内蔵2ポート機能を使用する場合の設定



- ・「2ポート機能/直結専用モード」の設定は、CPU直結タイプのプロトコル使用時のみ表示されます。
- ・初期値は、「アダプタ」(2ポートアダプタ 使用)の設定になっています。
- ・内蔵2ポート機能はGPがオンライン中(運転中)でのみ使用可能です。
- ・転送ケーブルは(株)デジタル製 GPW-CB02 を使用してください。

## 重要

- ・内蔵2ポートの設定時は、GPがオンライン状態(運転中)では、画面データの転送・システムの再セットアップはできません。(オフラインメニューの「画面データ転送」で行う必要があります。)また、画面転送時はGPP機能でのデバイスのモニタやラダーモニタは停止、または終了してください。
- ・内蔵2ポートの設定時は、キーボード・バーコードリーダーの使用はできません。
- ・内蔵2ポート機能で、プロコンを接続することはできません。プロコンを使用する場合は2ポートアダプタ を使用してください。
- ・内蔵2ポート機能を使用して、GPP機能ソフトがPLCと通信中は、GPをオフラインにしないでください。オフラインにした場合、通信が中断されます。
- ・GP-2000シリーズ、GP77Rシリーズ及びSTシリーズでは、内蔵2ポート機能設定時は、シュミレーション機能は使用できません。シュミレーション機能を使用する場合は「アダプタ」または「直結」を選択してください。
- ・MELSEC-Qシリーズで、内蔵2ポート機能を使用する場合は、パソコンの伝送速度をGPと同じ値に設定してください。伝送速度の設定が異なると、パソコンおよびGPでエラーとなります。エラーは以下のように表示されます。

<GP側>

“パソコンの伝送速度が異なります。(02:F5)”

<パソコン側>

“PCと交信できません”

<例:GP-377の画面の場合>

メニュー項目「動作環境の設定」を  
タッチします。



メイン / 初期設定	
システム環境の設定	画面の設定
I/Oの設定	フォントの設定
動作環境の設定	
メモリの初期化	
時刻の設定	

「動作環境の設定」画面が表示されます。  
画面右上の「設定」ボタンをタッチします。

動作環境の設定		設定	取消
システムエリア	先頭デバイス	0	
	先頭アドレス	0	
号機No.		0	
システムエリア	読み込みエリアサイズ	0	
設定を押すと次の画面になります。			

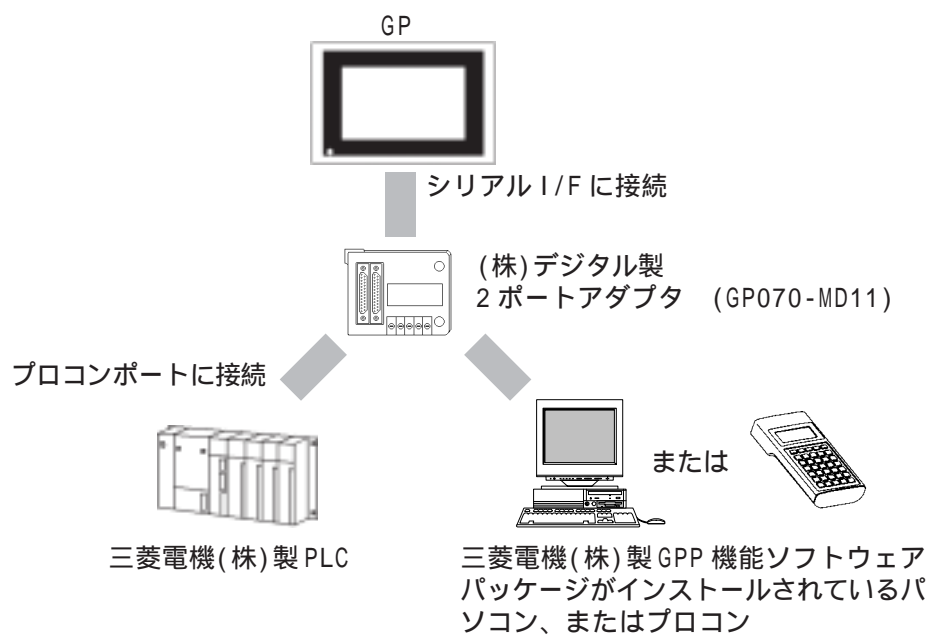
「動作環境の設定2」画面の次画面が表示  
されます。

「2ポート機能/直結専用モード」のボタン  
をタッチし、「内蔵」を選択してください。2  
ポートアダプタ を使用する場合は「アダ  
プタ」を選択してください。GP2000Hシリー  
ズまたはSTシリーズで2ポートアダプタを  
使用する場合（三菱電機 MELSEC-FX(CPU2)  
プロトコルを除く）は、「アダプタ+GPH」を  
選択してください。CPU直結の場合は、「直  
結」を選択してください。

動作環境の設定2		設定	取消
書込エラー時のGPリセット		無	
2ポート機能/直結専用モード		内蔵	



## 外付けの2ポートアダプタを使用する場合<sup>\*1</sup>



### 2ポートアダプタ 対象 PLC



- ・ 2ポートアダプタ (GP070-MD11)を使用できるCPUについては2ポートアダプタに同梱されている取扱説明書を参照してください。

<sup>\*1</sup> 2ポート機能内蔵GPでも2ポートアダプタは使用できます。

## 2ポートアダプタ を使用する場合の設定

2ポートアダプタ を使用する場合、GPのオフラインモードにて設定を行ってください。  
 オフラインモード [参照](#) 各ユーザーズマニュアル(別売) 第4章 オフラインモード

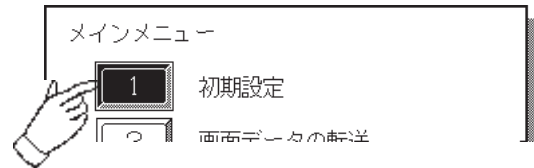
GP70シリーズ（GP-377シリーズを除く）の場合



- ・「アダプタ使用モード / 直結専用モード」の設定は、CPU直結使用時のみ表示されます。
- ・初期値は、「2ポート」の設定になっています。

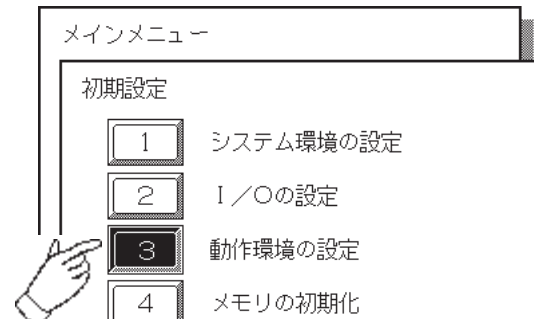
<例> GP570の画面の場合 >

メニュー項目番号「1」をタッチします。



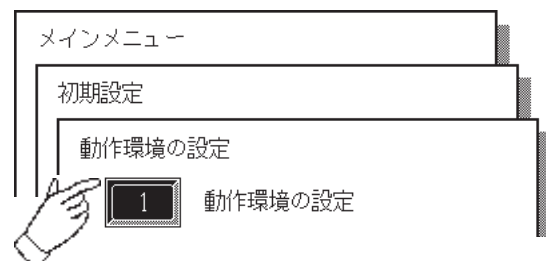
「初期設定」画面が表示されます。

メニュー項目番号「3」をタッチします。



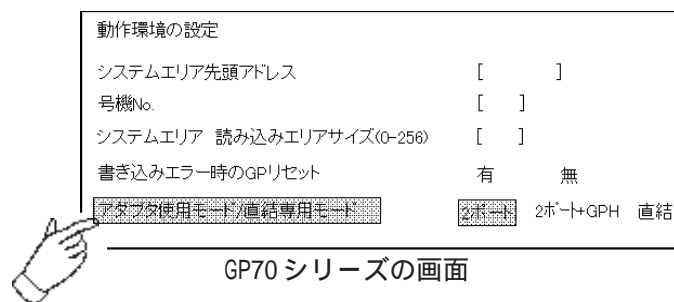
「動作環境の設定」画面が表示されます。

メニュー項目番号「1」をタッチします。



設定画面が表示されます。

「アダプタ使用モード / 直結専用モード」をタッチします。



「アダプタ使用モード / 直結専用モード」が反転表示されます。

2ポートアダプタ（GP070-MD11）を使用する場合は、「2ポート」を選択してください。  
 GP-H70で2ポートアダプタ（GP070-MD11）を使用する場合は、「2ポート + GPH」を選択してください。

CPU直結の場合は、「直結」を選択してください。

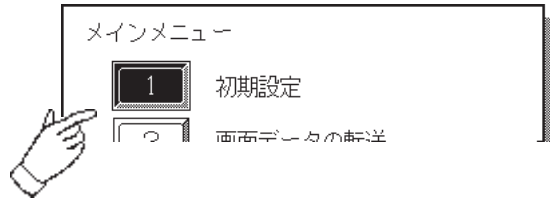
GP-377/GP77R/GP2000/ST シリーズの場合



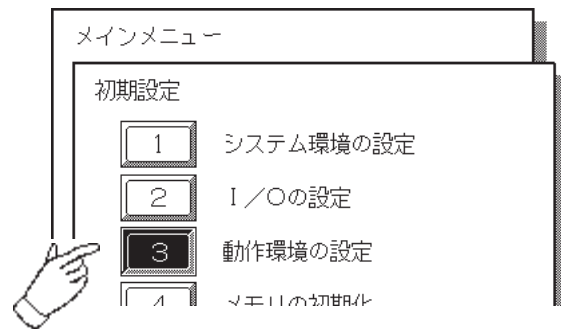
- ・「2ポート機能モード/直結専用モード」の設定は、CPU直結使用時のみ表示されます。
- ・初期値は、「アダプタ」の設定になっています。

<例:GP577Rの画面の場合>

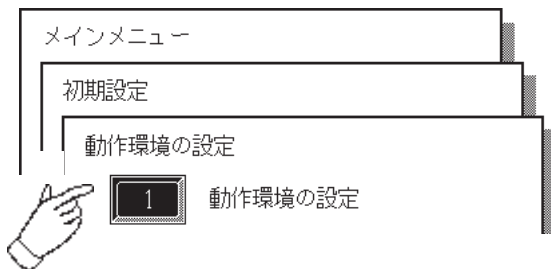
メニュー項目番号「1」をタッチします。



「初期設定」画面が表示されます。  
メニュー項目番号「3」をタッチします。

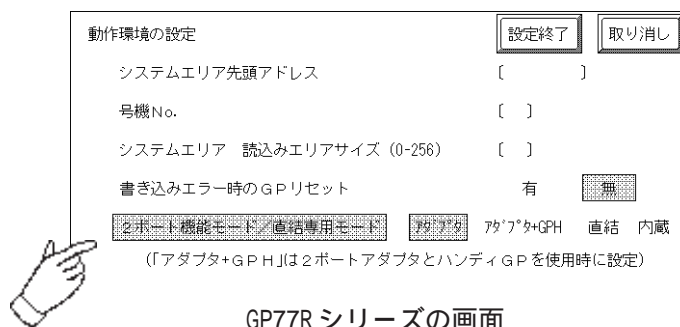


「動作環境の設定」画面が表示されます。  
メニュー項目番号「1」をタッチします。



設定画面が表示されます。

「2ポート機能モード/直結専用モード」をタッチします。



GP77Rシリーズの画面

「2ポート機能モード/直結専用モード」が反転表示されます。

2ポートアダプタ（GP070-MD11）を使用する場合は、「アダプタ」を選択してください。  
GP2000HシリーズまたはSTシリーズで2ポートアダプタを使用する場合（三菱電機MELSEC-FX(CPU2)プロトコルは除く）は、「アダプタ+GPH」を選択してください。

CPU直結の場合は、「直結」を選択してください。

内蔵2ポート機能を使用する場合は、「内蔵」を選択してください。